(年中無休刊) 大正七年六月十八日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可) 第三千八百五十七號(一)

京城日報

十七日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

○米軍獨陣地占領

十三日米軍はベロー森林に於ける獨軍陣地を占領し三十名の捕虜を獲たり(倫敦電報)

○敵軍牽制運動

佛軍總司令部附ロイテル通信員十三日附報道に曰く『敵は東部戰揃に五箇師團に達する兵力を用ひたるが中二箇師團は新師團なり目下敵はオアズ河の西方主要戰線より我豫備隊を牽出さんとする大牽制運動に過ぎざるもの〻如し(倫敦電報)

○獨軍ク砲臺占領

獨逸公報に依れば獨軍はクロンスタット砲臺の一部を占領せり(倫敦電報)

○過激派軍セ軍包圍失敗

過激派軍は七日精鋭なる獨墺俘虜を左翼としセミヨノフ軍を包圍せんとしたる爲めセミヨノフ右翼軍は四門の砲を有する八百名の騎兵にて追撃し他の一部隊は機關銃を敵に浴せかけ之れを撃退せり敵は百名以上の死傷者を出だし味方も亦多數の死傷者ありたり(アヴリナ電報)

○支那領土總司令官

ホルワット將軍はオルローフ、カルムニコフ等の軍隊を支那領土内に配置し砲陣を敷き自ら支那領土内の全軍總司令官たることを布告せり(通聯電報)

○元將校等の叛亂

十四日元陸軍將校等は勞兵會に對し叛亂を起せるが此の時彼等は日本の軍事探偵を監獄より解放せり(通聯電報)

○北軍常德占領

我陸戰隊の上陸警戒を謝す

北軍第三十師は十四日午前六時常德に入城引續き各北軍到著し同地を完全に占領せり但十三日夜來南軍が何等の掠奪を爲さずして退却せるは偏に我陸戰隊が上陸警戒せる爲なりとし内外居留民大に感謝し居れり(漢口特電)

○鮮人退去令と保護

京奉鐵道沿線吳家房に於て農業に從事し居る鮮人數百名に對し支那官憲は八日より全部退去すべく命せり依つて我奉天總領事館より鮮人保護の爲め警官を急派せり(奉天電報)

○生糸關税引上商議

米國下院財政委員會にては目下日本生絲に對する關税引上げの商議を爲しつ〻あるが右は多分通過す可き模樣なり(桑港電報)

○國賓來期

英國皇帝陛下の御使節コンノート殿下には十八日朝橫濱御著直ちに御入京の御豫定にて十九日宮中に御參内元帥杖を捧呈せらるべく東京市民の歡迎準備盛なり(東京電報)

本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月七拾五錢 郵送料 ...
廣告料金 ...
發行所 京城大和町一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

○寺内首相歸京

寺内首相は十七日午前十時五十分大磯より歸京せり(東京電報)

○議員觀察團消息

代議士視察團一行十三名は豫報の如く十六日午後六時營口著官民多數の出迎を受け直に汽艇にて遼河を下り東税關前に上陸し領事館の歡迎宴に臨み滿鐵俱樂部に投宿十七日朝七時十分發撫順に向へり(營口電報)

◎總監邸午餐會

山縣政務總監は十七日午後零時半官邸に於て目下滯京中の總瀨中將を招待午餐會を催ほせるが朴泳孝侯、岡田代議士、馬詰東拓支店長及び總督府側より國分司法部長官、高橋武官、古海中佐、遠藤秘書課長等列席せり

◎地税令災害地免除改正制令

地税令中改正の件、市街地税令中改正の件、災害地免除に關する件中改正の件は何れも上奏御裁可を經たるを以て十八日朝鮮總督府官報を以て制令として公布即日施行さる可し

◎辭令

十六日附左の通辭令ありたり

大邱公立高等女學校教諭 宮本秀雄

任大邱公立高等女學校教諭(八等) 從六位勳五等 蘆田彌壽治

任總督府税關技師(五等) 釜山税關監視課勤務を命す

◎繩叺生産並に包裝に就て(一)

(穀物の生産地に包裝繩叺に關し全南繩叺販賣組合理事長本山嶋氏は語つて曰く)

大正六年九月八日總督府令第六十二號及び同六十三號を以て米穀大豆檢査規則を改正せられ從來各道毎に區々の檢査をなし來りたるものを全鮮同一規則の下に統一し同時に一叺の容量五斗入なりしものを四斗入に改め以て從來の缺點を改補し漸次

▲其目的を達成しつゝあることは一般普知の事實なるが唯朝鮮米豆の重なる移輸出地たる阪神地方に於いて最も非難の焦點となり居りたる包裝繩叺の粗惡は其因する亂俵の頻出は今尙旺聞ことなり居り殊に本年二月一日附神戸米穀肥料市場より總督府及米豆檢査所に照會し來りたるが其の要點を掲記すれば

一、叺原料は藁の敲き方粗惡なるに依り切れ易し故に十分之を敲きて強靭なるものを用ふること

二、叺の丈けを兩端とも各三寸以上(莚一枚に付き六寸以上)長く製作すること

三、叺口は第一回之を折曲げたるのみに止めず更に第二回を深く折曲ぐること

四、俵裝は成る可く緊括すること

とあり予は是に對し聊か疑問を抱懷し去月内地旅行に際し下關に於ける關釜連絡船車連絡及び大阪に於ける船便に據るものと汽車便に據るものと各驛及び埠頭

△積取庫入實況 並びに入庫堆積中の現物を仔細に觀察し更に神戸米穀肥料市場にて同市場有力なる當業者二名及び同所書記と會見したるに折柄右照會文に對し三月六日附總督府勸業模範場より詳細の說明を附したる協議的照會文と共に總督府所定の幅二尺八寸長五尺五寸の四斗入叺に籾四斗五合を容れ現品の送致しありたるを以て自分と四名立會最も叮嚀に且つ愼重に之を點檢するも何等の損なく更らに販荷の上叺及び繩を檢すれば幅長共所定の寸法にして重量計八百四十六匁神戸米穀肥料市場が刎惡せる藁打卷込緊括等一點の申分なく正さに理想的と謂ふを得べし併ながら

△之は見本とも云ふべきものにして一般荷造狀態は到底是に比すべくもあらず併ながら從來の五斗叺時代に對比すれば其亂俵の約半減されたるものと斷ずるに躊躇せざるも大體に於て中身の米豆に比し包裝繩叺の粗惡なるを免れず而して叺破損の缺點は第一其繩の縱び縱繩の切斷口縢りの不十分と甚しき繩の粗惡品あると繩掛け緩く片寄りに來く叺の膝口の『ホツレ』等にして是等は全く原料藁の粗惡と藁打の不十分に基因するものにして寸法製法は總督府の示されたる標準に依據すれば敢て冗き憂なし

銀行土曜半休問題

▼時勢に逆行する土曜半休

問題決定の鍵は鮮銀重役にあり

京城組合銀行は漢城銀行專務韓相龍氏の唱導により大勢の意見に傾きつゝある事は既報の如きが該問題の由來を聞くに韓氏が土曜半休を提議せしは數年以前よりの事なり然も勝田前鮮銀總裁三島木村兩理事中村局長並びに足立十八河井百卅兩支店長等が之れを不可となし爲に木村理事河井百三十銀行支店長の如き絶對的に反對を聲明せしにより其の儘となりゐたり然るに昨年末木村理事は東京駐在となり河井百卅店長は内地に轉任したるより又復韓氏によりて土曜半休の提議を見たるものにして

▲美濃部總裁 三島片山兩理事の態度は未だ判明せざるも嘗て鮮銀幹部の反對ありたるために米土曜半休の實行されざりしは鮮銀の意向によりしものなればこの

這回決行せらるゝや否やも亦鮮銀重役の意向如何にある如し

韓相龍氏の提唱理由は行員の休養を主とし土曜半休は既得權なりと云ふにあり、然も行員休養の如き理由が土曜半休を決するに薄弱なるは云ふを俟たず而して氏の既得權を云ふは大正元年まで各銀行の營業が土曜半休なりしためその元年に京城組合銀行が土曜半休を目するものなりと云ふが何故大正元年に京城組合銀行が土曜半休を廢したるやと云ふにその主要理由は京城金融界の發達顯著にして到底土曜半休を許さゞるため一般取引者の便益を圖るにありし也然るに當時よりも京城財界は

△大に膨脹し大に繁忙となり大に銀行を利用しその援助を受くるを要する今日に至り既得權なりと稱して不徹底の三餘を以て韓氏が土曜半休を提唱せるは甚だ解し難き事にて明らかに時勢の進歩と逆行する處置なりと云ふ聲高し

▼如何なる點より見るも不可

某大銀行の有力幹部は曰く

本問題の決定に最も力ある某大銀行の有力なる幹部は曰く土曜半休の如き事は一般と關係薄かるべき

▲朝鮮銀行 が提唱し他の銀行が反對すべき筈なるにいつも他の銀行から此の提議が出て鮮銀が常に反對し來つたのは奇妙な現象である、今回も鮮銀がどうするかは明らかならざるも予輩は銀行土曜半休の必要を認めないのである第一正午に店を締めても結局かへつて早く歸宅が出來るか又それ丈け早くかへつて幾千休養が出來るかは問題だ、三時間やそこら早く歸つても飮んだり食つたりして反つて身體のためには惡いかも知れない、第二に果して正午に閉門をして全く

▲營業休止 の實行が出來るか得意先から二時三時になつて現金を持つて來たのを撥ねつけ得るかが却々の問題である、河井百三十銀行前支店長の如き到底不可能を明言し自店は特に午後でも行務を取ると云つてゐた位である、予は預金爭奪の狀勢可なり強き現狀より見て實行困難と信ずる、第三には或る小銀行が此の關係があるかも知れぬ乃ち土曜の午後に持つて來た預金を月曜まで寢かすのは幸いと云ふのである、果して然らば露西亞式に土曜の午後に入れた預金は月曜からでなくば金利をつけぬ事としたらよかろう、一般が土曜半休に反對する一の理由は預金金利より現金の

▲自宅保管 を恐れる關係と思考するのである第四に各銀行自身が剩餘金を鮮銀に預託する事が出來なくなつて困りはせぬ乎、要するにドノ點から見ても銀行土曜半休の可なる所以を知らない、然も一般に多大な不利と不自由を與へ取引者の大反對を惹起してまで土曜半休を實行するのは分らない話しである

▼什麽なるか

京城組合銀行幹事 井上正愛氏談

某々銀行の提唱で土曜半休問題は最近銀行集會所で稍進んだ意味に考究されてゐる、然しまだ度支部の意見も大に聞かねばならぬ、行令は伸縮可能となつてゐるが銀行ばかりで決定は出來ない、予は鮮銀重役の意見も直接に聞いてないから、從つて鮮銀の態度は未定である、唯予個人としては贊成である、然しかゝる問題に個人の意見は云ふべき事でなからう、土曜を半休にして一般が非常に迷惑し大に困ると云ふ事になればそれでも決行すると云ふわけではあるまい又すべき者でもあるまいと思つてゐる

◎東拓所長會議

東拓京城支店にては來る二十四日より二十七日まで出張所長會議を開く事となり夫々所長に召集狀を發したるが會議は川上理事之れを整理すべく時間は午前九時より正午まで又午後は一時より四時までなり日程左の如し

▲六月二十四日 管內狀況報告諮問事項▲二十五日 諮問事項▲二十六日 指示及び注意事項▲二十七日 打合

◆那翁を眞似た獨帝の遣り口

▼獨逸 皇帝が殆んど奴隷的に那翁一世の眞似をしてゐるのは可笑い。例へば露國を詐僞と武力とで崩壞せしめて、之を獨逸皇族に分ける抔、悉く那翁流であつて驚くべき程新機軸に乏しい、クールランド議會は獨逸皇帝を招いて其大公たらしめんとした、皇帝は之を辭して第二皇子アイテル、フリッツ親王をして其位に即かしめた。撒遜の王族がリスアニヤに據られた。波蘭王にも獨逸皇子を置く筈であつたが、之は墺地利の抗議で沙汰止になつた。ウクライナも未定だ、獨逸皇族が國王となつて乘込むだらう。芬蘭王には獨逸第五皇子オスカア親王がなる筈である。

▼羅馬 尼皇帝フアデナンドは廢せられて、獨逸皇族中誰か今少し柔順しい人が其代りになる噂がある。アルバニヤには戰前一度王となつて追出されて來たウイード侯が歸る筈。露西亞に對しては國民が今日の無政府狀態に飽きた時を見計らつて前の露國皇室を復活せしめる、此計畫が成就すれば獨逸皇帝は皇帝中の皇帝となり了せて、那翁一世が成さんと欲して成す能はざりし、亞細亞大帝國を建設する事が出來る、之が彼の理想である

▼倫敦『スペクテーター』は之を批評して云つてゐる、獨帝の計畫は實に壯大である、只悲しい事には之が一々那翁の眞似である那翁はアウステリッツの一戰で墺地利を破つてより、段々國王を拵へ初めた。那翁の兄弟の中ルイは和蘭王、ジョセフはネープルス王となつた。那翁は神聖羅馬帝國の分散を宣言して巴威とウルテンベルグ選擧公に國王の稱號を與へた。其上に那翁は其股肱の將士をも王侯に封じた、ムラーはベルグの大公に封せられて、國が小いと云つて不平を鳴らした。ベルチエーはノイシャテル王。ベルナドットはモンテ・コルボ王となり。タレーランは法王領の一部を貰つた。其他西班牙王、瑞典王等の國王が無數に出來た、之に比べると今の獨逸皇帝は、自ら省みて國王を拵へる數の少きに驚くであらう。那翁が一八〇八年エルフルトで露國のアレキサンダー皇帝に會見する時來會の王の數が餘り多いので、佛蘭西の兵士は國王と云へば馬鹿にしたものである。ウルデンベルグの王が來た時、其馬車が餘りに立派なので整列の兵士が、之を皇帝格の人だと思つて、三聲の萬歲を唱へんとすると、指揮官が大喝一聲『馬鹿ッ、之は只の國王だ』と云つた位である。

▼那翁 は一時歐洲全體の運命を制した。波羅的より地中海、ジイスチュラ河より葡萄牙迄自分の領土若しくは自分の部下の領土であつた。此外に露國は同盟國、墺地利は姻戚關係、普魯西は敗殘の國であつた。只英國は獨立してゐたが、始終那翁に脅迫されて其地位が不安であつた。葡萄牙にウエリントンの小軍が居たけれど那翁の眼中にない。然るに那翁は乃ち年來の野心を遂げる爲めに、先づ土耳其に地歩を占めて、印度を征服し、アレキサンダー大帝の遺業を繼がんとした。然るに彼が大帝國の計畫もライプチッヒの一戰に蹉跌して、僅三年の間に茶々に破壞された。其原因を探れば、那翁の世界統治の方針が武力一方に偏し、國民の感情を融和するの途を知らなかつたからである。

▼獨人 は好んで歷史を研究する割合には歷史の教訓を知らぬ。那翁が世界征服に失敗した理由は、彼が到る處で國民の感情を無視したからである。彼は獨逸に於て、西班牙に於て、丁抹に於て、和蘭に於て、常に人民の希望に反對する如き政治を施した。尤も當時の那翁法典は世界第一の完備した法律であつた、西部獨逸は此法律を施行せられた爲めに、封建制度の遺風が大部分撤廢されて、人民は其恩惠を受けた、それでも其土地の人民は心から佛蘭西を愛する如きにはならなかつた。獨逸の行政組織は今日餘程完備したものである、獨逸は之を西部露西亞に施して獨逸國民に變化せしめようと思ふのは間違である、人情は百年前も今日も左程變化して居らぬ、獨逸皇帝の末路も那翁の末路と大差あるまいと。(某外人談)

◎古阜水利多難

全北古阜水利組合は工費五十四圓にて昨夏起工大正七年六月を以て竣工の豫定なりしが起工以來工事上諸材料の暴騰と勞銀騰貴により更に若干工事入札上の手落ち等もあり竣工までに約十三萬圓の不足を生ずるに至りしに付役員と組合員間に紛擾あり殊に一反當り水稅負擔の增加は堪へ難しとの聲もあり工事遷延豫定の如く六月に竣工せず今秋若くば明春となる模樣なるが同組合長北尾榮太郎氏は不足工事費調達のため目下入京中なり尙該資金は最初よりの關

日午後七時二十五分南大門驛著列車にて入京大觀亭に投宿十八十九兩日間滯京左記の箇所を歷訪巡視の上二十日午前八時四十分發南行列車にて出發南鮮地方の各部隊を巡視する由なるが京城に於ける日程左の如し

十八日午前總督官邸、軍司令部、憲兵隊司令部、砲兵社(谷中計と共食)午後旅團司令部、師團長官邸、師團司令部、七十八、七十九聯隊、師團長邸にて晚餐▲十九日午前、李王職美術品製作所、朝鮮步兵隊、砲兵隊、騎兵隊、野砲兵隊、衛戍病院、射擊場、工兵隊新築工事場、新龍山...軍司令官々邸晚餐

◎議員團入京期

議に來京したる衆議院議員滿鮮及び支那視察團一行は來る二十一日朝南大門驛著入京當地に於て同團を解散し各自任意行動を執る

人事消息

▲藤谷中佐(國島憲兵隊長) 十七日朝退京
▲高橋沢川鐵道分隊長 十七日朝退京
▲今泉會計檢查官一行 十六日午後平壤へ
▲木戶憲兵分隊長 十六日午後入京
▲櫻井民次郎氏(平壤實業家) 十六日午後退京
▲青木鐵道院參事 十六日午後新義州へ
▲藤巻氏(朝鮮三井物產技師) 十七日朝...
▲中村辰五郎氏(中村組) 十七日朝入京
▲國府保安課長家族 國府氏東京にて入院中付十八日朝東上
▲白井水城氏(辯護士)十七日入京同夜開城へ

□夏の金剛山一周(六)

溫井里にて 高木背水

◆榧の頂上で颯と來る涼風を納れると百年の壽命が延びるやうな氣がする此處で一息してから楡岾寺迄は降る一方シーンとした大森林の中を左に右に廻りくねりして楡岾寺に到着一泊した此處に有名な鷺淵があるが何時の間にか取拵へられたやうである五十三像もサッパリ有難くない

□北海道まで(六)

市中にて 天民生

◎鑛業登錄(自六月八日至同十日)

▲鑛業權設定

黃海金川郡月城面外柳面 三十萬千五十坪 播磨米三 伊藤良助
金銀 同月城面 八十一萬四千九百六十九坪 伊藤良助
咸南端川郡天面 一里二十二町四十間 島田利吉
忠北清州郡南二面 十六萬二千五百八十坪 鮎貝房之進
全北金堤郡長山面 七十三萬八千二百四十九坪 岸田常造
全南高興郡大西面 二十三萬三千百五十八坪 朴吉善
慶北慶州郡見谷面 五十一萬七千二百五十坪 金光玉
慶南昌寧郡南面 二十五萬三千八百六十四坪 高橋四郎
黃海松禾郡豐川面 三十九萬千六百五十七坪 金東
江原洪川郡乃村面 三十七萬千六百六十五坪 金化綱亨

▲鑛業權移轉

慶北慶山郡慶山面砂金 長田千代三郎 山中かめ

係上東洋拓殖會社にその融通を求むべしと

◎隈總監入京

陸軍省經理局長主計總監隈は十七

忘機吟社六月例會席上聯句 其二

伴愁詩句忽來枕。待友車聲空過門。 原作
思詩月影已懸柳。待友車聲空過門。
寵榜雨滴已收響。待友車聲空過門。
懷鄉燕語不離幕。待友車聲空過門。
細書松影乍侵几。待友車聲空過門。
敲詩月影欲窺牖。待友車聲空過門。
汲溪月影來浮甕。待友車聲空過門。
揭簾花影忽橫座。待友車聲空過門。
窺廚鼠底已無酒。待友車聲空過門。
顧花雲影已離樹。待友車聲空過門。

●聯盟大英皇帝 御名代の宮

コンノート殿下十八日御來朝

◇十九日參内元帥杖捧呈◇

御滯京十日の御日程

英國皇帝ジョージ第五世陛下の御名を以て我天皇陛下に大英國のバトン、オブ、ゼ、フイールド、マーシャル(陸軍元帥杖)捧呈の爲御來航の途にあらせらるゝ皇從弟アーサー、オブ、コンノート殿下には愈々十八日午前七時半或は八時頃横濱に御著港遊ばさるゝ筈なるが殿下の本邦御滯在日數は彼此一箇月にして御入京當日より向ふ十日間御滯京十一日目には帝都御出發内地御觀光の御途に上らせ給ふべく全部の御日程は近く最終の接伴會議に於て確定を見たる上殿下の某地點に御到著を待ち御允諾を經て發表さるゝ筈なり東京御滯在中に於ける御日程は

▼第一日 御入京(霞ヶ關離宮に入らる)

▼第二日 午前宮中御參内(元帥杖御捧呈)△御退下後霞ヶ關離宮に於て午餐△天皇陛下霞ヶ關離宮御訪問△夜宮中公式御饗宴

▼第三日 在京各皇族殿下、各國大使、内閣總理大臣、外務大臣、宮内大臣及び武部長官を御往訪△霞ヶ關離宮にて御接見△英國大使館の晩餐會(英國大使館)に成らせらる(外交團御接見)

▼第四日 有栖川宮邸御茶話會(大妃殿下御招待)△伏見宮邸御晩餐會

▼第五日 大島陸軍大臣午餐會△午後四時から英國大使館園遊會(在留英國臣民に御接見)△東伏見宮邸御晩餐會

▼第六日 午後英國教會御成

▼第七日 島津公爵邸午餐會△午後英國大使館園遊會(有名なる日本人御接見)△夜後藤外務大臣晩餐會

▼第八日 未定

▼第九日 霞ヶ關離宮御告別御晩餐會

▼第十日 御暇乞の御參内畢つて正午宮中御會食△午後帝國劇場へ御成(英本國及び埃及倶樂部員の英國素人劇御覽)

▼第十一日 内地御觀光の途に上らせらる

七年前御來朝のコンノート殿下と接伴官(中央左殿下 右東鄕元帥)

●皇禮砲轟く 横濱港に 國賓御著

有吉知事令孃文子 花束を捧呈

べき當日御坐艦の觀音ヶ崎通過の報あるや横濱市にては豫て用意の煙花三發を打揚げて之を普く一般市民に報じ聽て同船の巨姿横濱港外に現はるゝを待つて近く第二艦隊司令長官に補せられたる山屋中將坐乘の旗艦某々及び麾下の艨艟數隻は一齊に殷々たる

♣**皇禮砲を發** 射し先國賓最初の奉迎の意を表すれば茲に接伴員一同及び英大使同館員有吉神奈川縣知事等は汽艇にて殿下の御召船に伺候し御機嫌を奉伺し後殿下には艦載水雷艇にて税關第五號岸壁より海軍々樂隊が洋々たる英國々歌吹奏裡に御上陸あらせらるゝ趣きにて同埠頭には

♣**日英國旗を** 飜し萬國々旗經木モール等にて裝飾の清楚なる離迎門を建設し横須賀海兵團より派遣の海軍儀仗兵一大隊を始め在濱各官衙高等官市長市名譽職及び有力なる京濱在住の英國人多數は岸壁に面して整列殿下を奉迎申上最敬禮を行へば此時有吉神奈川縣知事令孃文子は美事なる

♣**花束を殿下** に捧呈し更に安藤市長は日英兩文にて認めたる離迎文を殿下に捧呈英人側にても離迎文の捧呈あり是に對し殿下の御答禮ありて

▼**日英國旗の朝風に**

御召車 東京に向ふ

光榮の機關手火夫

名員の萬歳歡呼の裡に中村、道院總裁の御先導にて官廳列車に御乘車[illegible]第二艦隊司令長官中村鐵道院總裁其の他是れに御陪乘して東京驛に向はせ給ふ由なるが御召列車は在職十六年間兩陛下を始め奉り皇太子各皇族外國貴賓の

●**御召車運轉** の光榮に浴し殊にコンノート殿下の御召列車は畏くも明治天皇大葬の御用に[illegible]下にカーメー[illegible]御大葬の御兩回に亘りて之が運轉の榮に浴したる機關手[illegible]四郎(四九)の外[illegible]火夫井上新三郎(二九)今回も選ばれて御運轉申上ぐべく斯くて機關車の先頭に

●**日英兩國旗** の交叉せる同御召列車は午前十時三十分に發する豫定で樂隊の英國々歌吹奏裡に東京驛に御安著の筈なり

▼**東京驛頭に 至尊行幸**

◇御入京の盛觀

是れより先 聖上陛下には畏くも正親町侍從長内山侍從武官長外供奉員を從へさせ給ひて親しく同驛に行幸在京各皇族殿下と御共々英皇甥殿下を御出迎へあり燃ゆるが如き緋毛氈を敷詰めたるプラットホーム上に於て殿下と厚き

♣**握手の禮を** 御交換遊ばされ汐路遥けき御旅路の勞を問はせ給へば殿下の恭しき謝辭あり次で各皇族殿下と順次御握手の禮を重ね給ひて夫れより殿下奉迎の寺内首相以下各國務大臣に田原東京衞戍總督由比近衞師團長河合第一師團長石光憲兵隊司令官岡田警視總監井上府知事田尻市長其他文武百官の最敬禮に對し御答禮ありて

♣**御同列驛頭** に降立たせ給ひ茲に宮内省差廻しの第一公式儀裝馬車に閑院大將宮殿下と御同乘近衞騎兵一小隊其前後を御警衞申上げつゝ儀仗兵の捧銃と沿道堵列せる奉迎市民の離呼裡に御旅館なる霞ヶ關離宮に入らせ給ふ御豫定なりと拜承す

●淺野老侯の奇禍

＝令孫新婚宴の往途＝毆打さる

◇淺野總一郎氏の間違か？

十六日午後四時半麝香間祗候從一位侯爵淺野長勳氏は令孫の新婚披露宴へ築地精養軒に赴く途中烏森に知人を訪問し同家を立出んとする

◇**刹那** 突然十五名の醉漢同侯に打つて蒐かりしに侯は七十一歲の高齡とて後頭部を毆打されたるが急報に接し直に愛宕署より警官出張して

◇**犯人** を取押さへ目下取調中なるが右は淺野總一郎氏に恨を含む壯士が侯を總一郎氏と誤まり暴行を働きしならんと云ふ(東京特電)

●小露キエフ 大爆發

ウ大寺院燒失す

小露西亞の首府キエフ市附近の火藥爆發は去六日にて最初二回の大爆音に窓硝子の破片雨霰の如く(飛び大破裂の音響約十二回小爆音數知れず全市宛ら大地震の如く人々空中に跳飛ばされ建物[illegible]の大搖しウエリチッツの大寺院は熱火の中にめらめらと燒落ち猛火は猶附近一帶の地に燃ね擴がれり右は過激派の行爲ならんと觀測さる(大阪特電)

●伊國人俘虜 通過

＝十九日龍山驛著

十九日午後九時四十七分龍山驛著列車にて伊太利人俘虜三百六十三名北京より通過露國の浦鹽を經て釜山に向ふ筈なるが右俘虜は嘗て墺國に在りたるを今回兩國間に於て俘虜の交換を行ひたるものにして一行は日本より米國に赴き夫れより歸國すべしと

●久保氏選擧違反

奈良縣選擧競爭激烈にて憲政會派久保猪一郎氏等は選擧違反にて其筋に取調中なり(大特特電)

●九谷全滅

製造家全部燒失

十五日午後三時半九谷燒産地石川縣江沼郡西谷村字九谷大火にて製造家三十六戸燒失全滅せり(大阪特電)

●熊本縣下浸水

連日の雨にて 黑川氾濫して

熊本縣下の川は連日の雨にて増水せるが阿蘇郡の黑川は遂に氾濫し同郡内牧町は浸水家屋二百戸に及び猶同郡宮地熊本間列車不通となれり(熊本電報)

●大阪西區火災

名村造船所より出火

十六日大阪西區難波島町名村造船所に出火あり尾野鐵工所外五戸燒失し損害十萬圓の見込也(大阪特電)

●少女危く救はる

十六日午後八時頃龍山漢江の人道鐵橋上に若き女が物思はしげに徘徊し居るを通り合せたる龍山憲兵分隊の篠塚鳥吉が發見し件の少女を引き連れ龍山憲兵分隊に引渡せり分隊にて取調べしに少女は山本貞江(二五)と云ひ本籍岡山縣阿哲郡本郷村當時京城本町四丁目十五番地眞商方に下女奉公中にて漢江に投身して自殺せんと企てたる旨申立たり而かして其の原因には何か深き事情伏在し居る如きも秘密に附せられ居れるが聞く處に依れば同人は是迄方々を流轉し廻り素行にも面白からざること多かりし由にて多分身の立場を失ひ此の始末に及びたるものならん

●平壤中學生 游泳中溺死

大同江にて

平壤電氣株式會社長宮川五郎三郎氏の令息にて平壤中學校生徒なる悟(十五)は十五日午後一時卅分頃大同江にて游泳中溺死したり(平壤)

●挌鬪して逮捕

＝勇敢なる巡査

全北鎭安警察署大良駐在所詰石川巡査は十三日夜强盜犯人を發見し捕縛せんとせしに賊は所持の兇器を振つて抵抗するより石川巡査も必死となりて之に應じ遂に大挌鬪の末[illegible]

●軍刀にて自殺

豫備騎兵少尉

山口高商助教授體操教師豫備騎兵少尉佐藤虎介(三八)は十六日午後三時精神錯亂の結果軍刀にて自殺せり(山口電報)

●警務部射擊會

京畿道警務部にては十八日午前八時より北門外弘濟院河原に於て射擊會を擧行する由

●獵友會大會 成績

再び菊池氏優賞す 朝鮮獵友會春季大會の成績は左の如くなるが一等より十五等迄夫々賞品授與を行ひたるが一等賞は再び菊池二郎氏の手に歸し寺内前總督より寄贈に係る優勝大銀杯は來る秋季大會迄同氏保管の事となれり

▲一等 菊池二郎(實射五十點持點五點合計五十五點)▲二等 高岡通一氏(實射三十四點持點二十點合計五十四點)▲三等 池田季雄氏(實射四十二點持點十点合計五十二點)▲四等 入見次郎氏(實射四十三點持點七點合計五十點)▲五等 瀧川鉦江氏(實射三十八点持點十點合計四十八点)▲六等 保科照子(實射四十點持點七点合計四十七点)▲七等 坂井衛氏(實射三十五點持點十二点合計四十七點)▲八等 早野龍三氏(實射四十五點持点ナシ)▲九等 和田八千臣氏(實射四十二点持点二點合計四十四點)▲十等 カメロン氏(實射四十二點持點二點合計四十四點)▲十一等 山崎新氏(實射三十八點持點五点合計四十三點)▲十二等 吉川九助氏(實射三十一點持點十點合計四十一點)▲十三等 瀧川喜多次郎氏(實射三十四點持點七點合計四十一點)▲十四等 日置政之助氏(實射三十二點持點七點合計卅九點)▲十五等 瀧谷眞英氏(實射三十點持點七點合計三十七點)[illegible]郎氏(四十三點)

●釜山興行

三日目取組

＝二日目景氣素晴らし 二日十七日朝は夜來の小雨霽れ十時頃は絶好の天氣となり景氣は素晴らしきものなりしが三日目取組左の如し

(風)千葉崎	大湖(錦島
(琴)ケ浦	三杉(藤川
大戸山	磯の岩
能)海	伊達(白川
小田(浜	錦の海
	小牛田山(鶴岬
	大(砂岩

尚ほ三日目支局招外御好みは大潮琴ケ浦なるが兩關共人氣力士なれば定めし喝采を博すべし(釜山電話)

東京 灯ともし頃

▲朝鮮には目下小林萬吾、石井柏亭、兒島虎次郎、生田大癖、益田玉城など言ふ知名の畫家が乘込んで來て右往左往してゐる▲此等の中には今年の文展に出品すべく鐵の草鞋で畫材を探し廻つて居る畫家もあるが何れも相當の收穫があるらしい▲中央の畫壇にこれまで鮮の山川風物の紹介されたものも尠くないが愈う紹介された人達に依つて愈々朝鮮を紹介される事になると今後は多數の畫家が押寄せて朝鮮の影が薄くなる程寫生して行く事だらう▲何にしても朝鮮の爲めに慶賀すべき事だ▲東京でも大久保作二郎氏は朝鮮風俗を主題とする文展出品畫を此程完成したさうだがそれやこれやで今年の文展は朝鮮の畵も尠くないだらうと

お伽巡禮 (三) 涙光生

□江 景□

○午前零時卅六分、眠い目をこすり〱乘込む汽車の人となる[illegible]から乘り込んだ若い者

文藝讀者 **課題及募集規定**

募集規程 ▲用紙は端書又[illegible]

明くれば朝風の寢ぼけ面をなで行くうちに汽車は大田驛に著く〱直ちに湖南線の列車に乘り替へる本線のそれとお話にもならぬ進行のぬるさ加減つたらない八時江景驛に降りる、河本販賣店主、洪得中支局長等に出迎へられ錦江館に入り先づ洗面をして朝食を終はれば既に十時

◇宿場たる學校に到れば佐々木地方法院支廳檢事、小林小學校長、川畑普通學校長、他有志職員等に迎へられ、校長の紹介で登壇三席の講演を濟ませたのは正午であつた、今日は兒童一般の感興を引く事が出來なかつたらしい。

○川畑普通學校長及洪氏等に送られて三時六分發の列車にて裡里に向ふ、近來になき炎天にて九十度を示す、四時裡里に著すれば重松總督府勸業模範場出張所長竝に小林普通學校長の迎へられ明治旅館に旅装を解く、蒸された如くに五尺大の殘骸さんを收めてゐます

◇淋しき町をしばし逍遥して夏らしい氣分の漂ふ灯をながめつゝ十時、三夜目に疊の上に夢をむすぶ事となつた。

商況

東京期米特電

十七日前場 二十六圓十九錢

兵庫期米

十七日前場 二十六圓二十一錢

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●**綿糸布氣强し** 大阪三品は當先共に三百二十五圓五十錢、現物は十六手三百二十圓十錢三銘十一圓四十錢と氣强き成行きなり

●**正米更に昂騰** 正米は買物薄に氣配更に昂騰して朝來は日本種玄米二十三圓五十錢在來種二十二圓九十五錢次品二十二圓四十錢と一昨日に比し二十錢高なるが各地の採算上割安なるを以て跡尚高値見越しの氣配強硬なり

●**内地豆類近況** 小豆 不振なるに最近の多額の船先きあるより旣に三十錢安を見たる後漸く持直し大豆へは猶賣行不振なり

●**麥粉愈々頭打** 輸出商況以外に原材料を有せざる製粉は高値安の相場に[illegible]

●**砂糖は軟調** 砂糖は在荷多く現在需要期の持品需要なる

下關相場

●朝鮮米(强硬) 高値は買人の氣配[illegible]

●麥類(活況) 新物待ちにして[illegible]

●肥料の成行 朝鮮イワシ粕六十[illegible]

●**支那粟ヂリ安** 支那粟は賣行き減退の爲め氣配ヂリヾ下押し[illegible]

●**叺紬狀氣安** 同様賣行き鈍く氣配不振にして朝鮮産九十五錢滿洲産八圓五十錢さ安含みの商状なり

仁川正米

生魚市場

仁川期米

▲**十七日前場**(强硬)

大阪天候 小雨前寄二十六

●**白米高氣配** 白米は原料高の刺戟を受け前報後上げ[illegible]

●**錢方を下押** 又々一三三十

●**鮮人向白米は**[illegible]

●**二三十錢高の氣配**

度と沸騰

[illegible]に**遂に二圓丁**

圓〇八錢さ一昨日より三錢

高

市場雜觀

▲**小口落さ人氣**

北濱たより

▲**船株は賣れぬ**

仁川米豆取引所

十七日の八月限

小西の肩代

十數萬石に達し

占め居る玉數無慮

巨河村齋藤の買

[illegible]より**買方の巨魁增貫**[illegible]**終に檢中局**

[illegible]**送られたり**[illegible]**三期**

叺紬莚 穀物鋪石炭雜物用叺及荷造用莚各種 大田本町二丁目 **箕浦商店** 長電話五二番

株式會社仁川米豆取引所仲買人 **全昌田柳賃店** 仁川海岸町三丁目 電信略符メツ 振替三八一 電話長一〇八 電話長一一九

仁川期米（十七日）

▲十七後場 大阪前止め二十六圓十錢後寄未著にて中二十三圓先〆一錢と一錢高に寄付二圓九十五錢
一圓二十三圓〆二十三圓二十三圓九十九錢八錢二十三圓五錢六
二圓九十八錢七錢八錢七錢五錢六
二節九十八錢七錢八錢
九錢二十三圓二十二圓九十九錢八

後場 寄付 二十三圓〆二
止 二十三圓〆五錢
高値 二十三圓〆八錢
安値 二十二圓九十五錢

大連より

○滿鐵埠頭の大豆より十二日復々出火し若干の野積大豆を烏有に歸せしめたるが最近に於ける埠頭保管の大豆火災は之れにて前後五回を數ふるに至り埠頭の大豆火災は全く珍らしく無くなりたり豆火事が珍らしく無くなる程に愈々怪火の噂は高くなりたり

○埠頭の大豆火災は毎回白晝に起りたるを以て大事に至らず其の被害高は全保管大豆の總額に比すれば甚だ大ならずと雖も前後五回の燒失額を通算すれば既に數十萬圓の被害高に達し決して小火なりと云ふべきに非ず而かも五回共に出火の原因判明するに至らず、荷主（特に一部の善良なる）及び需用者に一種の不安を抱かしめつゝあり

○然りと雖も滿鐵埠頭亦火災防止に就き等閑意を用ひざるに非ず即ち埠頭構内に在りては妄りに火氣を取扱はせざるは勿論喫煙をさへ嚴禁し晝夜數十名乃至百名の看守人をして警戒巡視せしめあり要するに埠頭の大豆は多數者が晝夜看守警戒する火の氣なき處より而も五回迄白晝煙を揚げて焔々燃燒す如何にも人を馬鹿にしたる火災に非ずや之等をこそ眞の怪火とは申すべきなり

○市者市中傳ふる處に由れば火災の原因に二三あり或者は曰く之れ近來下落一方なる大豆相場を釣上ぐる爲めなりと又或者は曰くこれ火災保險金を目的とせられたる火なりと或は曰く燒殘り豆の安價拂下を受けんとする爭也と或は曰く埠頭內部の軋轢の結果なるべしと

○吾人元より大豆火災の原因が如上の如くなるべしと信ずる事能はず殊に大豆相場釣上策の如き一部大部分の大豆を燒棄せんと欲するものに非ず又埠頭全部又は大豆を燒棄して其の目的を遂し得べき計畫に非ざる事は其の出火の時間の白晝なる事及び烈風又は風向等を選ばざりしを見るも明かなり保險金取り策としては甚だ策の得たるものに非ざるは明かなり燒殘大豆の拂下げ目的の如きも又聽說耳を傾けるに足らず唯怪火は何處までも怪火たるを失はず

○滿鐵會社が各部々々に於て折合惡しく朋黨比周當に誹謗陷穽を事とし火花を散らして軋轢に日を送りつゝあるは殆ど公然の事實なり單に一埠頭の大豆のみに非ず吾人は滿鐵會社內部の人と人とが相鬩ぎて發する火花に由りて幾多の物質と事業とが熾々火を揚げ煙を捲きて燒燼しつゝある悲慘の有樣を目擊しつゝあるなり

慶北共進會

▲評議會 十五日午後二時より共進會評議員會を慶北道廳樓上會議室に於て開會各種の協議を爲せり
▲クラブ出品 大阪クラブ化粧品本舖より今秋の慶北共進會に參考品の出品並に特設館設置を希望せる事は既報せし處なるが同店特派社員大山氏來り共進會場に並べき現狀の視察を爲したるが愈特設館設置に決定せるものゝ如し（大邱）

輕鐵＝嶺南線

朝鮮輕鐵大邱、浦項線の內永川、慶州間の路線工事は殆んど竣成の域にまで進捗し本月中には工事受渡を了するに至るべく目下會社は線路竣工の部分に對し軌條を敷設しつゝあるが昂赤著々進捗しつゝあれば此分なれば八月中には營業を開始するに至るべく慶州浦項間も豫定の期日迄には竣工の見込なりと

東京大相撲と我社

京城日報愛讀者の福音

◆本紙購讀者の木戸割引

東京大相撲鳳、千葉ケ崎一行の來鮮に際し本社は例年の如く一行の景氣を添へ且つ讀者諸君の興味を深くする爲に左記各項の問題を提供致します。

京城興行中は勿論左記各地の巡業地に於いては本紙刷込みの割引券御持參の方に限り木戸錢三十錢を二十錢に割引する事に協會員と協定致しました。

釜山（三日間）大邱（三日間）大田（二日間）京城（五日間）仁川（二日間）平壤（三日間）

◆銀盃受領力士的中豫想

別項本社贈與の銀盃を受ける力士が誰であるかを當てた方二十人に相當の賞品を差上げます、答案は端書に大潮なら大潮又は三杉磯とか錦島とか一人丈け記して京城初日の前日迄に差出して下さい、的中者が多い時は抽籤によって定めます。

◆五日間の勝負豫想懸賞

京城興行五日間に於ける好取組五組を出し例年本社が春夏兩場所にやって居るのと同じ方法で勝負豫想懸賞募集を致しますから今から好角家は今度の各力士に就て御研究を願ひます。

我社の相撲道獎勵計畫

◆優勝力士に銀洋盃贈呈

本社は東京大相撲地方巡業中に於ける各力士の眞摯なる奮鬪を期する爲に京城興行五日間の最優勝者（横綱大關を除く）に本社より特に美術的意匠を凝らした大形銀製洋盃一箇を贈呈してその功勞に酬いようと思ひます、これは本社が斯道獎勵のために特に出した問題で力士も眞劍になれば隨って觀客たる讀者諸君も餘程興味を感ぜらるゝことゝ思ひます。

◆番外お好み五人抜其他

鮮滿巡業中は本社各支局より毎日一組宛幕內の番外お好みの餘興を出すと共に京城興行中は毎日幕內の番外お好み、幕下力士の五人抜、或は初切などの面白い餘興を御覧に入れます。

京城日報社

游泳術

（二）神道流師範　林　茂敏

◇水を泳ぐのは◇
○自分の力で泳ぐのではない○

水は非常なる上壓力を有するものにして陸上にありて支ふ可らざる重量品と雖も能く水面に浮揚する事を得、人身の水上に浮び得るも亦此の上壓力に依るものにして決して各自の力の致さしむるに非ず故に水面にありては常に身體を柔らげ之に和從して最も能く此の壓力を受くる體形を取りて動作を爲す時は能く浮動する事を得べく然らずして之に抵抗し之が助力を受くる事尠なき體形に在りては忽ち水中に沈むべし例へば平板を平たくして水面に浮ぶる時は決して沈む事なきも縱に之を押し入るゝ時は容易に水中に沒するが如き常に斯の如き關係を有す而して其の壓力は靜水或ひは流水を問はず一般の水の有する性質にして之れ即ち水泳の基礎を爲すものなりとす

◇水身一致の術◇
○何うして水泳を會得するか○

水流動する時は當に上壓力のみならず更らに甚だしき勢力を有するものにして能く巨岩を穿ち家屋を破壞し又大地を掃蕩する等の力あり水泳者若し此の無限の勢力に和順し之を利用する時は自己の力を以てして爲し得べからざる動作も靜動何れの水中を問はず容易に達成し得らるべきものなり而して之れに抵抗する時は進退に苦み呼吸切迫遂ひに危險に陷る事あるべし即ち此の勢力を使用する方法は所謂水泳術なるものにして身水一致は水泳術の一大要素と謂ふべし

◇動作せずに浮游◇
○陸上に在る心掛けが肝要○

人の身體は同一容積の水量よりも輕きを以て（一尺立方水の重さ淡水六十二斤五海水六十四斤一八）固より水上に浮ぶべき性質のものにして全體の權衡平均を得る時は手足の動作を待たずして水中に浮游する事を得、而して水中に於ける人身の自然の權衡は陸上に在ると毫も異なる處なし即ち頭は水上に浮き足部は水中に沈み身體は自然に直立して水の表面に頭部の半ばを顯はして漂ふものなり彼の潜水術を知らざる者の水中に沈まんと欲する時水の上壓力に支へられて身體水上に浮出し水底に達する事能はざるを見る如き人身の水上に浮ぶ性あるを知るを得べし（仁川）

釜山と貨物（下）

釜山運輸課派出所調查

五月中の到著貨物

◆繩叺 は產地に於ける所要貨車の遞送は要領に加はりたる移入を促進すべき
◆海產物 漁獲期に入りしも前年の千八百九十六噸より千二百六十一噸に減じ
◆綿布類 の夏物仕入は前年の輸送困難は當業者に於て前月までに仕入の一段落したる結果百三十七噸にて前年の百八十九噸に比し五十二噸を減ぜり
◆果物 は長州產夏蜜柑の相當移入あり前年の百十一噸に對し百五噸の到著あり
◆野菜 は前年の六十六噸に比し三十六噸を減じ三十噸なりき
◆酒類 は麥酒の需要期を控へ百六十二噸にして前年の百十七噸に比して四十五噸を增じたり
◆砂糖 は神戶仕向六十五噸のみにして明治製糖下の關大里製糖の門司仕出品皆無にして前年の二百七十四噸に比し實に二百九噸の減少なり
◆其他 一般不振なりき
◆手荷物 旅客小手荷物の增加は自然の趨勢と見るべきも旅船客增加率は乘船客に遠く及ばず日鮮兩地經濟界に好不況の差異ある意味するものゝ如く特に降船客中優等客に於て前年に比し減少を示せるは內務省令及び總督府令により外人取締規則の實施され結果外人の旅行の減少せるものと認めらる、收入の部に於ける學生團體の減少を示せるは本年は春期列車に旅客激增、結果輸送力缺乏の爲め例年の如く各團體旅行を歡迎せざりし結果に依る
◆乘船客 前年同期四千五百四十三人に對し六千三人にして千四百六十人の增、降船客前年五千五百三十一人に對し本年五千七百九十八人にして二百六十七人の增 收入金前年同期二萬二千六百七十一圓九錢に比し三萬二百六十二圓四十八錢にして七千五百九十一圓四十三錢の增加なり（釜山）

お伽講演と日取の變更

京城日報社地方巡廻お伽講演會の日取を左の通り變更致しました

二十一日＝群山小學校＝午前十時
二十二日＝公州小學校＝午後一時

平南春蠶豫想

毎年蠶繭の出盛期にて各郡に於て共同販賣方法を取り商人をして競爭入札を爲さしめ來りたるが此方法は諸種の弊害を生じ例せば人の集合に不適當なる個所交通不便の地方等には商人の赴かざることあり之れが爲め地方養蠶家をして不測の損害を蒙らしむるが如きことあり又競爭入札法も良好と云ふべからず故に本年は平南道廳に於ては競爭入札の方法を講じ一郡一個所に共同販賣所を設くることは前年と異らざるも交通の便利又は集合の良否等に依り養蠶家に迷惑を及ぼさゞる樣特に一郡に一人の購入者即ち買入商人を撰擇指定して派遣することゝ爲せり勿論本販賣購入については特に警務官憲の援助を受くることに協議纏り居れりと云ふ尚共同販賣指定郡は左の如し

順川、孟山、成川、江東、中和、龍岡、江西、安州、价川、德川郡

尚本年平南に於ける繭の產額豫想は一萬七千石にして昨年に比し約七千石を增加せり又本年の繭相場は十匁一升の物一石にて七十九圓の當り昨年の附込み六十四圓に比較すれば利益推して知るべし（平壤）

慶北繭相場

開慶にて十日出慶繭六百七十二貫六百八十匁の取引あり此の總額四千九百六十九圓二十五錢、最高十一圓最低六圓五十錢にて大邱小口組、小澤組、片倉組、山十組其他二三の商人と取引せらる尚州十二日尚州繭の相場は又昔最高十圓二錢最低五圓二十錢交配種最高九圓五十三錢最低五圓十五驅八圓十六錢也と（大邱）

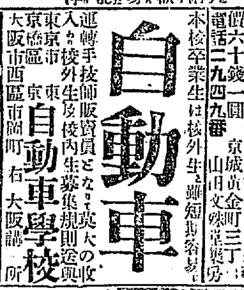
海底の鐵鑛

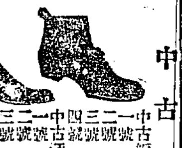
◎三菱の手に發見さる◎

黃海道殷栗郡二道面なる三菱鐵山は南北六哩の長きに亙る六鑛區にして現に何ほ各所を探鑛し部分的に鑛量品質研究中なるもの多々なるが五月中面積粉里の海岸より海底に連なる鐵鑛區あるを發見し干潮時を利用して試掘せしに品位頗る優良なる由にて現に鑛量測定中なるが概測に依れば約九六百萬噸は確なるべしと稱せられ居れるが何れ適當の新設備を施し採鑛さるゝに至るべし（鎭南浦）

◇第七回 男優總出◇
◇舊劇快天丸◇
ミラの秘密
料金割引 一等卅錢 二等廿錢 三等十錢
普通入場料 一等四十錢 二等三十錢 三等十五錢
活動寫眞 黃金舘
京日讀者優待割引券
（一枚二人共通）
日時 六月十四日より（午後六時開場）
京城日報社

高貴藥 くたりどめ
主治 ●腸加答兒 ●痢病 ●霍亂 ●疫痢 ●急性後重 ●水傷 ●北食 ●其他食傷等より起る一切の下痢病
配合 新薬
清腸（セイチョー）
オブラート添附
一服にてきゝめある
價 金拾錢 金廿錢 金五拾錢 金壹圓
本舖 大阪堂島元規梧 高橋盛大堂藥局
同心香居門番勞町
發賣 高橋盛大堂分店
●各地到る處の藥店に販賣す





自動車
運轉手技師販賣員となり莫大の收入を校外生及校內生募集規則送呈
本校卒業生は校外生と雖短期間に
東京市京橋區 東京自動車學校
大阪市西區新町 大阪 右 講習所

わきが
にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は特効藥ファーザーを御用ひあれ
價六十錢
電話二九四九番 京城黃金町三丁目 山田文殊堂藥房

一番よくきく
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
藥價表 四粒入金十五錢 十四粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢
（ニセモノあり御注意）
本舖 龍山元町二丁目 林藥房
代理店 京城本町 山岸天佑堂
釜山辨天町 大黑南海堂
平壤大和町 森田草藥堂支店

進歩せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる國末式ベント金庫は……人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ベント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目
電話本局三八五番
振替東一九九〇三
△寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候

京城電氣會社製 特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

移轉廣告
新綠の候に御座候處御華主各位益々御隆昌奉賀候陳者弊店儀今回業務擴張の爲め左記の所へ移轉致し從來の通り主として有價證券現物賣買並に雜穀類の賣買等一層迅速勉勵可致候間何卒倍舊の御引立御用命被仰付度只管奉懇望候先は紙を以て移轉御披露迄如斯御座候 敬具
京城府本町二丁目九番地（元社前）
昨今各株共既に下直之しきかと被存候此好機會に於て必ず弊店を御利用被成下御用命の程伏而祈上候
田中友吉商店
電話長九九三番
振替口座京城一五二五番

六月十日より毎日（自午前九時至午後六時）
繭 賣買入札開始
右精々勉强御取扱申候間多少に拘はらず御出荷相成度廣告候也
釜山南海繭絲商會
龍山出張所

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
本田醫院
院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院
電話二四四三番
振替京城三三二八番
肛門病の新療法特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

期米必勝無心法公開
本法は我邦師某教育者の發見して絕體必勝而かも責任確保の必勝法なるは明治三拾九年以降今日迄過去拾二年間の相場に對照なし拾回に八回四分の的中なるは何よりの證據也。余は全鮮在鮮諸氏と共に共幸福を分つ可く貳百名限り無料公開す
（大正六年十枚賣買に對する計算は）
△甲式 壹千八百五拾圓 純益
△乙式 壹千參百八拾圓 純益
岐阜縣本巢郡北方町 立川順一

質 大塚質店
京城明治町二丁目元町
電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防備に金庫あり
◎多額の融通

塚原卜傳

第百九席　悟道軒圓玉口演

熊吉は言葉を繼いで 熊『稲妻庄太と兄弟分になつて相撲取りになり鎌倉から大磯國府津と諸々方々を興行して歩き、若しや若殿様の御消息を聞くこともあるかと心付けて居りましたが何んでも笠間の松原へ若殿様が切込んで彈正の人數に取巻かれ已に危ふい所を上州の御同門の方達が駈付けてお助け申し、其れから上州の方へおいでになつたとは聞きましたが其れから先きは一向判らず、明暮お案じ申して居りましたが、圖らず此所でお目に懸れましたのは明神様の御利益でございませう、そして私の兄伴作は相變らず壯健で、お供をして居りませうか……』と聞かれて小太郎 小『イヤ其れは能く小太郎の身の上を案じて呉れた、重ね〳〵の忠義禮を述べる言葉もないまた實父磯右衞門の遺志何と申して宜いか揃ひも揃つた忠臣孝子、さて熊吉、その伴作が實に殘念な事をいたしたぞ 熊『へエ兄貴が何うかいたしましたか 小『笠間の松原で拙者の叔父大杉神社の神職藤出榴頭、仇彈正左衞門のため囚はれ、磔刑に行はれる由承はり、伴作共々之を助けんとして刑場へ切込んだる時、仇は大勢此方は二人必死を究めて戰ひながら遂に叔父は助け出だしたが其節敵方の者の打つたる鐵砲、狙ひ違はず命中して不憫にも伴作は其場に落命をいたしたぞ 熊『エッさては兄の伴作は鐵砲に擊たれて死にましたか 小『烈しき戰ひなれば死骸は其儘に打捨て置き、髻だけ切り取つて懐中いたし、同門の人々の救ひを受け漸く其場は立退いたが其れより越後の上杉家を頼み、久時春日山に居て時節を待つ中、再たび都に騷動起つて將軍家には三好長慶のため討たれ給ひ、國家の仇たる長慶を其儘には捨置き難く都へ走上つて三好を首尾よく討取り、其都を辭して常陸なる父の仇を討たんため此所まで參つて小太郎、汝の兄伴作の遺髮は今も大切に懐中いたして居る、我家の大忠臣勝義世に出でなば厚く葬り回向をしたき所存、サア熊吉、之れが兄の形見であるぞ、對面いたせ』と肌付の守り袋の中より取出したる紙包み、熊吉サテは兄伴作に別れた石橋山の一夜が永き此世の別離にてあつたかと、泪は頰に傳はるを双の拳に拂ひながら、受取つた紙包み、開いて見れば一摑みに足らぬ髻 熊『エヽ兄さん情ないお姿になんなすつた、私がせめて傍に居たら恁うした最期は遂げさせまいに殘念な事をいたしました、コレといふのも仇、彈正左衞門の爲す業、己れ彈正やわか其儘に生かして置かうか』と拳を握り齒を喰縛り、東の方をハッタと白眼んだ、小太郎が 小『尤もである、併し伴作は拙者の身代りになつた忠臣、死んでまで拙者の身體を護つて呉れると見え今また弟の汝に廻り逢はして呉れる、之れも皆伴作が草葉の蔭からの引合せであらう兄に代つて熊吉これから拙者の力になつて呉れ 熊『仰しやるまでもございません、親父の遺言は耳に殘つて片時も忘れません兄の仇きお主の仇佐竹のお家の大惡人、彈正左衞門の素首を捻切り、兄貴の志を果たしますのが此熊吉の役目でございます、これからは荒鷲の熊五郎改め秋山熊吉、足らずながらもお力になりますから兄貴同樣お召使ひ下さいまし 小『ア、健氣なる其一言、伴作が生れ代つて來た心地がいたす』と小太郎も大きに喜こびましてさて落付先きは島村小太夫方でありますから小太郎は島村方へ參り、熊吉は別れて宿所へ立戻り、稲妻の手當をすると腰の骨を碎いたが間もなく氣がつき命に別條はないから熊吉も一同に仔細を話し、塚原から預かつた見舞の金を與へまして茲で相撲を廢めて塚原の家來になる由を一同に話しました。

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

院長 醫學士 森定吉 (芙蓉醫院改め) 内科 小兒科 森病院 入院隨意 京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡 電話二六一三番

六月十九日 九星 舊五月十一日 丁酉 本命三碧 東 平 先負

▲二碧 [illegible] ▲四綠 めでたき日 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible]

演藝案内

有樂館 東京小林商會出張 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話 [illegible]
十一日より公開 (今回より普通料金) ◎社會活劇『瓜二つ』全五卷 [illegible] ◎新派悲劇『福德利』全四卷 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
△京阪落語々樂會一行 ▲落語(小遊)▲落語物まね(遊玉)▲落語手踊(遊生)▲落語音曲(笑三)▲落語、音曲(花輔)▲浪花節、水戶黃門(幸二)▲落語、手踊(右圓遊)▲大切喜劇(座員總出)

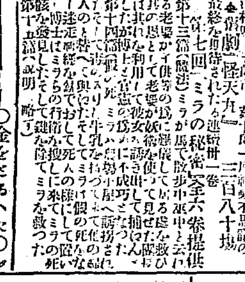
大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
◎探偵活劇『古城の怪事』全四卷 [illegible] ◎舊劇『通力太郎』全三卷 [illegible] ◎新派大悲劇『手向の曲』全四卷 [illegible]

黃金館 電話二六三七 二六六 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇 女流浪花節正橫綱 笑樂家賀嬢改 一行 六月二十三日より初日 [illegible]

▲喜劇『歌姫』▲泰西滑稽『拳鬪』[illegible] 舊劇『怪天丸』[illegible]

三 均陵庵 京城永樂町 ○金をとろへ ○困る方 ○見ます ○相談 ○自稱先生でなし ○旅稼き一時の人氣 ○廣告專門でなし ○活き看板 氣像報



本舖 大阪市西區新町通二丁目 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

日本に初めて出來た
美乳
鏡見る毎に色白くなる

鏡が證據

實際驚きました、美乳を用ひ初めてから一日、二日三日と日立つて効果が顯れ一週間目には生地から白い美しい膚となる鏡見る毎に自分ながら見惚る〻ばかり美しくなるそれですから私は朝夕美乳を欠かさず常用してるます、しかし外出の時には新に出來た美乳の姉妹美容料「純白美乳」を一滴必ず塗けて水際立つた化粧姿を喜んでるます。

僅か一瓶で美人となる 試驗はタッタ一週間!

◉家庭では朝夕=美乳
◉外出の時一滴=純白美乳

大學目藥本店 本舖 矢野芳香園 大阪市 [illegible]

お化粧の仕方

日本名物

(第一に)……皮膚の美を增す クラブ洗粉で

能く顔を洗ひすべ〳〵と天鵞絨のやうな手ざわりになつた所で……
(第二に) 皮膚の美を添ふお化粧下クラブ美身ゼリーを襟から顔へかけて塗つて生地を整へ……
(第三に) 一番高尙で美しい艶の出るクラブ白粉を掌に取り指先で能く煉てつけ(襟は顔よりも少し濃く)牡丹刷毛で白粉を延し水刷毛で白粉を均し濡タオルで押へて白粉を落付ける……
(第四に) お顔にホンノリと櫻色の健康色を出すクラブ頰紅を目の縁から頰へかけて薄く刷付ける……
(第五に) お化粧に一段の生彩を加へるクラブ粉白粉をセーム革につけて顔に薄く打ち襟はボットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で輕く打つて置きますと高尙で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます

お化粧の順序
クラブ洗粉 → クラブゼリー → クラブ白粉 → ほたんはけ → 水はけ → ぬれタオル → クラブ頰紅 → クラブ粉白粉

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 京元線(北行) 同(南行) [illegible]

京城日報　第五版　（年中無休刊）大正七年八月十八日（日曜日）　THE KEIJO NIPPO　第三千八百五十七號（一）　（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）
十八日朝刊（朝夕刊とも併せて八頁）

仁川期米
▲十七後場　大阪前場先安に二十二圓十錢後寄未著にて中二十三圓先〆九錢、十三圓二十二圓九十九錢

仁川米豆取引所

京城日報
コンノート殿下を迎ふ

英皇室より我皇室に特派されたるコンノート親王殿下は今朝東京に御到着あらせらるといふ。吾人はこゝに謹みて遙に歡迎の意を表す。

日英同盟の成りてより既に十數年を經たり。其間彼の國に於ても亦我國に於てもこれに反對するの聲無からざりしには非らざれど、兩國の友交は益々固く、相信頼するの情は愈々強くして、如何なる障害も之を切離する能はざるは、此同盟の兩國にとり必要缺くべからざる事を最も有力に證明するものにして、嚢に寺内伯が『日英同盟は天意なり』と喝破せるの眞なるを見る。

蓋し我國が嚢に國運を賭して强露と戰ひし時に當り、第三國の干渉し又は我敵を援助するの虞なく、力を征戰に專らにするを得たるもの、一に日英同盟の賜物ならずんばあらず。吾人は永久に此恩義を忘るる事なかるべく、あらゆる機會にこれに報いんことを志しつゝあり。今次の歐洲大戰に當り我國が先づ靑島を攻略して獨逸の極東に於ける勢力を一掃し、軍艦を太平洋及び印度洋に派遣して其警備に任じ更に地中海に於て我同盟國の爲めに活動しつゝあるは此志の發現のみ。英國に於ても深く我を徳とするは今回其皇室が特に其最高位にある皇族の一員を特派して我皇室に敬意を表せしめんとするを見ても察すべし。我國は大に之を榮とすると共に、益々我同盟國の爲めに力を添ゆるの決意を固くすべし。思ふに東京に於て遠來の國賓を歡迎するに遺さざる所なからん。然も我同盟國の皇室及び人民が、今に於いて我國に期待する所は更に具體的なる同情ならん。吾人は我當局がその期待に背かざるの途を取るを疑はざるなり。

支那文學の變遷（九）
今關天彭氏談

詩の方面となると、南宋の詩界は大體蘇東坡、黄山谷の流れを汲んだものが流行し、取分け黄山谷の流れを汲んだものが流行したのであつて、この派を西江派と謂ひます。南宋の代表代家は楊萬里（誠齋）范成大（石湖）陸游（放翁）等でありますが、陸游は其の中の尤なるものである。金と元の間になると元遺山が出て剛毅な性情と、雄健悲壯なる調子で詩を作り、まさに蘇東坡、黄山谷を凌ぎ、李太白杜子美に迫らむとする趣が見れて居ります。併し稍足らぬ處があるのは已を得ぬでありませう。次で虞道園が出て唐詩の長所を學び、元の終りに薩都刺（天錫）揚維楨（鐵崖）なども出て居ります。薩都刺の詩は如何にも温厚且つ流麗でこれが元の詩の代表ではないかと私は考へるのであります。又揚維楨は樂府を作る名人で、其の詩は唐の李賀（長吉）を學んだのであるが、李賀をも凌駕せむとする氣概が見ゆるのであります。明となると劉基（靑田）に次で高啓（靑丘）が出て元末の面白からざる風習を一掃し去つたのであるが、不幸にして高啓は夭折したのである。永樂以後となると文章にも臺閣體が出來たる如く、詩にも亦臺閣體の詩が出來たのであるが、この體の詩が流行つて來たことに依て、漸次詩は衰へて來たのであります。同時に宋代に盛んであつた詞も衰亡した。この詩と詞との衰亡と同時に勃興して來たのは傳奇（戲曲）や小説でありませう。

古文の復興

古文の復興時代は明の半ば頃から明末迄續いて居ります。前に述べた如く李東陽が臺閣體の文章の弊習を矯正しやうとして力を注いで居る時に當つて、王鏊（遵巖）といふ人が出て唐宋の文章即ち韓退之や蘇東坡の作つた古文を以て一世に唱へたのであるが、此人も亦力が足りない。其處で李夢陽、何景明などいふ人が次で出て、大に復古の説を稱へた。復興の説とは力を盡して秦漢以上の文章を學び、唐以後の文章を學ばぬといふのであります。此の時に聳出した作者の中で有名なのは前七子があります。少しく後れて唐順之（荊川）が出た。この唐順之は大體蘇東坡を學んだのであります。亞いで李攀龍や王世貞等が出まして、李夢陽や何景明等の唱へた說を傳承して更らに其の聲を大にした。これを後七才子と稱して居る。其の中の王世貞は長い間盟主となつて學界に覇を唱へて居つた。これに對抗して起つたのが歸有光（震川）で、唐宋の文章を鼓吹して王世貞と相爭うたのであります。或る人の評に、明代の古文はこの歸震川を以て其の光なるものとすと謂つて居ります。同時代には茅坤即ち茅鹿門といふ人があつて、唐順之の選んだ唐宋八家文を批評して剛刷に付しましたが、盛んに一世に行はれた。唐宋八家とは韓退之、柳子厚（以上は唐）歐陽永叔、蘇老泉、蘇東坡、蘇穎濱、曾南豐、王臨川の八人を謂ふのであります。この唐宋八家文が一世を風靡する勢に隨て、文學界が再び氣力を生じて來ると同時に、駢體の文章も多少復興の形となり、悉いて詩も亦盛んになつて來たのであります。

國賓……本日御來朝のコンノート殿下

新自然主義（四）
鈴木大拙

▲前回第一段十五行目『南宋北の方が』は『南宋北の方』の誤植

ロダンの傑作の一つに『ラサントレース』と云ふ半人半馬の彫刻がある。これは人間の二元性を象徴したものと思はるるが、全體の上に努力の跡が歴々と見ゆる。體の上部を形成して居る處即ち其面、其頭、其半身及びそれらに附帶せる一切の筋肉及び曲線に驚くべき緊張の心持と向上の努力が見ゆる。能く〳〵これを見つめてをると上方人體の部分が蟬や蛇が其殻から脱して出んとする努力でもなく、又後部の獸身を引き廻さんとする所の緊張でもないのが分明になる。寧ろ向上の精神に充實せる人身が其力に任せて附隨せる獸身をも轉化せしめんとするのであることが解る。ロダンのセントールは向上的精神の努力を結晶したるものと見るべきであろ斯く努力の痕跡を髭々と示してあるだけに、これは新自然主義の偶像とする理には行かぬ、新自然主義は更に此の域を超脱したものでなければならぬ、鳥が大空を翔け行く如くでなければならぬ、又魚が大海の淺を潜るが如くでなければならぬ、活動はある、作用もある、併し苦心慘澹の跡はない。

自らにして然るものがある、頭から尾に至るまで其間に何等の不調和もない、何等の不純一もない、渾然として唯一つである、即ち自由で自然である、人身と獸身との間に矛盾、衝突、軋轢、奮鬪など云ふものが一つもない。ブレーキのエホバの神のやうに十分の智慧と十分の力量とが圓滿に調和してをる。考へる事と行ふことが別物になつてゐない、頭と實驅との間に完全な連絡がある。

並行線（十一）
瀧閑村

『可厭だ〳〵、お祖父ちやんを持つて行つちや可厭だ。』

出棺しやうとして、棺を柩に收めやうとすると二男の護が突然飛附いて來て、棺に取縋つた。一同愕然とした。

『そんな事を云ふもんぢや無い、此方へお出。』と光一が宥しても聞入れない。

『可厭だ、お祖父ちやん死んぢやア可けない。』と益々激しく泣く。

骨肉の別れ――皆顏を背けた、一座は水を打つたやうになつた。

光一は白の裃の姿で護を抱いて裏口へ出た。

『護はよく判るい、兒だから、そんな事を云ふのぢや無い、お祖父さんはね……』

諭さうとする父も聲が咽喉につまつて了つた。子と孫とは茲に死の厳肅の威に打たれ、相擁して泣いた。

柩は斯うして、父の死亡した三日目の午後三時過に家を出た、永遠に還らぬ門出であつた。

鈍い日光に柩の金物が薄く光る柩を舁く葬儀社の人夫の白丁の下から、汚い着物の裾が風に煽られて見れた。會葬の人々は話し乍ら笑ひ乍ら跟いて行く。

寺へはさう遠くはなかつた。本堂の正門に柩は舁据ゑられた。脂切つた肥つた住職は華美な法衣を著けて曲彖に凭つてゐた。伴僧が左右兩側に立つた。引導も讀經もズン〳〵濟んで、燒香になつた。母の次に光一がしてお村の夫がした。するとお村が立ち掛けると同時にお夏も起つた。

『お夏は後におし。』と母は低く聲をかけた。

『はい。』と云つてお夏が腰を下すとお村も坐つて了つた。

『姨さんどうぞお先に。』

『まアお夏さんから、貴女は娘さんだから。』

『いゝえ、どうぞお先に』

二人は一寸氣色ばんだが、お村が先に燒香した。父と云ふ壓しが除かれると、こんな所にも暗闘が起つた。

燒香を了へると、モウ堂内は薄暗くなつた。光一は忙がしく寺の門の傍に出て會葬者に一々禮を述べた。會葬者が去つてしまつてから、女等をも歸し、光一はお夏の夫の眞介の外に三名の親戚と火葬場に行くことになつた。

火葬場迄は一里以上あつた。町はモウ灯の入る頃でゾロ〳〵人通りが多い。葬儀社の人夫は火葬場迄運べばそれで自分等の役目は濟むと思ふらしく、ズン〳〵道を急いだ、供の者は袴を長く穿いた歩き難い扮裝で、セイ〳〵云ひ乍ら町から町へ柩の跡を追つた。

火葬場に著いた頃はモウ空に高く星の光が冴ゑてゐた。

『どうも忙はしなかつた。』

『こんなに汗が出た。馬鹿に棺が早いもんだから。』

と人々は手拭で額を拭つた。

こゝで復短い讀經を了ると、棺は火葬場の人夫の手に依つて、竈へ運ばれることになつた。煉瓦で積んだ竈は厳重な鐵の扉が附いてゐる。人としての最後――其四肢五體を原に還さんが爲に大きな口を開いて待つてゐる。

『可いかな、モウ少し力を入れろ』

棺は車からスル〳〵と此口に飲まれて了つた。ガチャンと重い鐵扉を鎖して、ピンと錠を下した。

『明日の朝は八時過ぎると何時でも宜うございます。』

と僧は鍵を光一に渡し、チンと鉦を鳴らして讀經し始めた。火は光一が竈の下に投げ込んだ。

『ア、是でモウ……。』と光一は思はず合掌したのである。

宣太郎の乗つた列車は此時京都に近く走つてゐた。

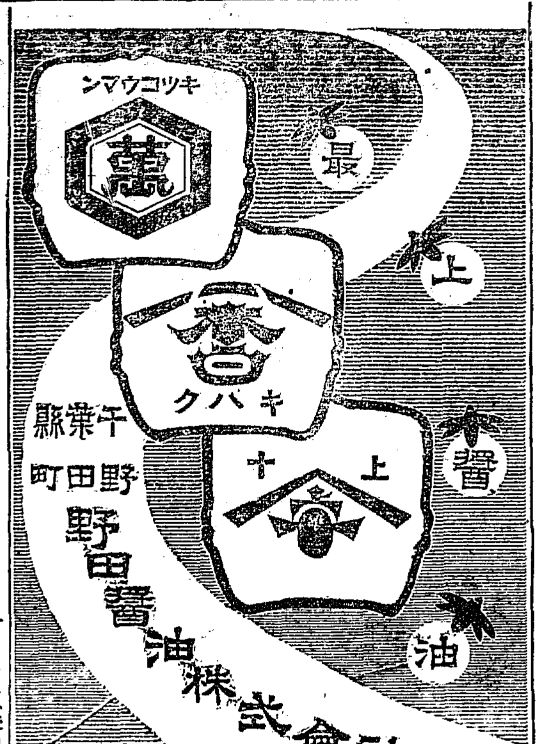
『やつと半分來たか。』と、宣太郎は窓を開けて、東の方を望んだが沿道の民家の灯が悲しげに瞬く外何も其眼に映らなかつた。

第六十九回 勸業債券（拾圓券）賣出

■總額　八百萬圓（利子年四分每年十月拂）
■賣出　七月二日より十五日まで
當銀行、各地代理店、取扱店並に各地郵便局にて賣出す
當銀行より直接郵送の場合は通數の多少に不拘郵送料金拾錢也を申受く
■くじびき　初回は本年九月三回目迄同額割增金添附
最初五箇年間は年三回（一月九月）其後は年二回
■割增金

等級	金額	自初回至三回目每回	四回目以後每回
一等	貳千圓	十六本	八本
二等	百圓	二百本	四十本
三等	拾圓	四百本	三百六十八本
四等	五圓	九百八十四本	七百八十四本
計		一千六百本 六萬九百貳拾圓	一千二百本 貳萬七千六百圓

大正七年六月
東京市麴町區内山下町（振替貯金口座東京第四番）
日本勸業銀行



久留米特産 絣小ぎれ一〆匁特價拾四圓五拾錢
一キレは參尺位より五六尺まで壹貫匁は凡貳百尺、即ち反物の牛値以下の徳用品、今回は特に長尺物を取揃へ柄合を取まぜ御試賣品として提供いたします。三貫匁以上は五歩引前金送費無料代金引替は壹貫匁に付五拾錢
『久留米絣』見本帳並に相場表御一報次第贈呈（振替福岡八四五二）
久留米市外三瀦大溝
本場久留米絣製造元 田中絣工場

◎編輯總裁 大隈侯爵 ◎執筆者 當代之碩學大家五百四十名（製本既成・即時配本）
日本百科大辭典（第九卷）發賣
■定價金拾五圓■特價金拾貳圓（送料）（市内無料・内地五十四錢・朝鮮臺灣・樺太支那七十錢）
▲日本百科大辭典完成會編纂の本書は豫定通り第九卷を完成し左記兩所にて購讀者各位の貴需に應ずる事となり目下順次配本しつゝあり御入用の諸君は即刻御申込あらん事を希望す
申込所 東京神田 株式會社三省堂（振替東京三一五五五）
東京牛込新小川町 日本百科大辭典普及會（振替東京三五〇〇〇）

確實廉價 貴金屬
常に優秀なる貴金屬製裝身具を廉價に提供致す可候間御下命を
京城本町一丁目 勲章堂 平井時計舗 電話二二〇一番 振替京城一〇貳六一

京日案内
▲申込後中途中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御原稿は返附せず ▲御原稿は必ず數字の番號御記入乞ふ
普通 一回前金五十錢 一番外 一回前金壹圓

時計見習入用 年齡十四五六歳希望者履歷書携帶來談但要保證人 太平通二電二四二五 向井時計店

金融 官吏月掛商人五日掛にて極秘迅速に御融通す 本町四ノ一〇二（電話二七九六番） 山口 213

◎ミシン職人募集 平壤大和町 小町屋商店 21

◎理髪職人入用 希望者は京城日報構内電話十六番へ 222

◎看護婦及見習看護婦入用 南大門通農銀裏 司生堂醫院 81

電話買物有 電二五一九へ 220

店員 藥業經驗有廿歳前後履歷書携帶來談 電話讓受たし 南大門正門 救世藥館 221

◎經驗ある藥局生二名看護婦及見習至急入用 希望者は左記へ 仁川京城日報仁川支局

◎乳母入用 月御預け致してもよし（電話六九八番） 太平通り二の四五 更科支店 203

◎女事務員入用 希望の方は本人來談ありたし 京城 黄金館事務所 202

告ぐ 原田今朝六君に 至急用事有る至急歸れ又病氣の節は左記へ葉書にて住所知らせよ 京城府安國洞三九 尹奎榮 212

宏大なる朝鮮建物參拾餘坪付 所在北米倉町百四十番地内 有貸却す 南米倉町八八 齋藤出張店 電話一一九〇 191

見習看護婦三名入用 希望者は至急本人來談あれ 黄金町二丁目 電話二八三七番 朝鮮診療病院 216

○東部國境開放交涉

東淸鐵道廳及び哈爾賓領事團は過激派に對して東部國境開放の交涉を爲せしも過激派は之を拒絕せし由なるが此の儘に過さば哈爾賓の影響大なるを以て東淸鐵道より再交涉を開始せし由なるを以て何等かの條件の下に近く哈爾賓滿洲間の交通開始さる可しと（長春特電）

○支那銃彈哈市輸送

十六日吉林混成第二旅步兵九十七名及銃五十、彈丸四十箱機關銃二門同彈丸十箱を哈爾賓に向け輸送せしが猶ほ同第一旅砲兵十九名も亦同地に向ふ可し（長春特電）

○過激派 支兵集中抗議

過激派は支那軍隊の國境集中及びカルイムコフ部隊の對過激派戰鬪行動に就きポグラニッチナヤの支那官憲に說明を求めたるに對し支那官憲は過激派及び獨逸が滿洲を威嚇し危險なるが爲めなりと回答せし由なり（長春特電）

○過激派軍主力集中

東部過激派軍の主力は目下フスノワタヤニ附近に集中しつゝあるが此地はグロデコを守備す可き必要の地點なり（長春特電）

○セ隊長 義勇兵募集形跡

近來セミヨノフ隊長は人を派し長春を中心として日本人の義勇兵を募集しつゝある形跡あり（長春特電）

○三菱採鑛 元山出張所開設

三菱鑛業株式會社にては北鮮地方所有鑛區の採掘に着手すると同時に採鑛用物品の供給鑛石等の處置に當らしむる爲め元山出張所を開設するに決し既に同地東洋軒の土地建物を買收したるが本月初旬より咸南端川の鐵鑛三十八鑛區及び江原襄陽の鐵鑛三十鑛區に技師を派遣し採鑛準備中也（東京特電）

○豆粕受取拒絕

十七日豆粕買方鈴木、白井より豆粕十九萬六千枚の受取拒絕を申出でたるを以て又復一問題を惹起す可し（大連特電）

○宮尾長官營口行

宮尾民政長官は田中秘書官を隨へ十八日午前十時大連驛發營口に向へり（大連特電）

○磯目中佐北行

參謀本部附步兵中佐磯目六郎氏は十七日夜來釜長春へ向け北行せり（釜山特電）

○齋藤中佐挨拶

吉林孟督軍顧問齋藤中佐は十七日新任挨拶の爲め旅順に來り同日夜發せり（大連特電）

◉朝鮮海員不足

近時內地海運界好況にして大に船員を優遇するため朝鮮沿岸航路就航船乘組の海員中有資格のものは漸次內地に歸還し行く傾向あり既に最近も當局の調査する所によれば上級海員を失なへるため航行不能に歸したる船舶八隻の多きに及べる由にて朝鮮郵船會社の如き所屬船員の引留め策としてその優待方法に常に腐心しつゝあるが此の點より見るも朝鮮に於ける海員養成機關の新設は頗る急なるべしと

銀行土曜半休問題

▼銀行取引者外にも影響あり 某遞信當局者の談

▲日曜は 正午限りと云ふ事になつてゐる、唯暑中のみは全部午前中と特に定めてある、遞信當局として今回の京城組合銀行土曜半休問題を如何に見るかと云ふに出來得るならば現行の儘にして欲しい若し土曜半休の必要あらば暑中丈けとせられては如何であらう郵便局に於ける爲替預金の事務は御承知の如く土曜と雖も午後四時まで執りか、外の銀行は兎に角朝鮮銀行丈けは特に左樣にして欲しいと思ふ何故と云ふに年中土曜の銀行營業が半日になると郵便局の過剩金を鮮銀に預託する時間を約三四時間方繰り上げねばならぬその結果場合により午後並に翌日

▲爲替貯金の拂渡しに困難を來し一般を困らす事が出來るかも知れぬ、更に地方の郵便局所からも土曜の午後に至つて京城郵便局に現金を請求して來ても翌々日の月曜まで送れない事になる、さすればその影響は一般の不便と云ふ事に歸して行く、此の兩者殊に京城と地方との通信官署現金問題は實際上餘程重要な關係を及ぼすだらうと考へる銀行半休が一般商家に及ぼす不利に就ては予も多く知らぬが要するに餘程重大な理由なき限り半休決行は考へ直して欲しいと思ふ

▼銀行の活用は午後にあり 某大會社主腦者の曰く

京城組合銀行の土曜半休問題は單に體面より見るも京城の不面目にしていかにも京城が商業上悠々閑々たる土地の如く思はれずや或は外國に於ける銀行の土曜半休の例を示し

▲京城の半休 を云爲する者もあるやに聞けど元來歐米先進國の大都市と財界の未だ幼稚な京城を同一意味に比較するは不當の甚しきのみならず外國大都市には夜間銀行の存して金融を便じつゝあり京城の如く各銀行一致すれば私的金融機關の外全部を失ふものとは同一視するを得ざるなり予等は絕對的に京城組合銀行の土曜半休問題を非なりとはなさず唯未だ現狀を以つてしては時期尚早なるため反對するのみ銀行業者の或る人々は銀行が午後休業する事とならば土曜の金融關係事務を午前中に處理せば可ならんと云はんも銀行の利用は一日の三分の二以上午後にあり何となれば午前は諸種の

▲交涉準備 に費やされ銀行を煩はす事は少なきを以て也然るにその重要なる殊に日曜を控ゆる土曜の午後を全く休止せんとするは予等取引者の苦痛は極めて大なり聞く所によれば本問題の提唱者は漢城銀行の韓相龍氏にして西村一銀遠山漢農の兩氏熱心なる贊成者なりと而して他の銀行は鮮銀の態度未定十八銀行の稍反對なる外可否何れにても大した議論なしと云ふにある如し、斯の如くんば必らずしも半休論者多數とも曰ひ難きに似たり若し第一銀行

▲漢城銀行 にして土曜半休を切實に必要と認めば獨自一個にても之れを敢行し得るや否やと問ひたし兩銀行共に直ちに首を縱に振るべし乃ちコヽに土曜午後營業の必要なる所以にして內地各都市が何れも半休をとらず內地の銀行條例が之を許さゞるその所なりと云ふべし予等は韓相龍氏が非難多き此種の提案の撤回をなさんを勸告す又若し京城にして半休決行をなさば地方も之れに倣ひ來る事は想像するに難からず然らば京城一地の問題にならず全鮮の問題となるべし

◉豆滿江警備電話

豆滿江沿岸警備電話は江口西水羅より茂山郡三下面迄開通し居れるが本年度に於て三下面より豆滿江最上流農事洞迄を架設する事となり六月上旬之が測量の爲め淸津局より技術員出張せるが本年中には架設を終るべく之れにて數年前より着手せる豆滿江沿岸の警備電話は全通する筈なり

◉春蘭共同販賣

京畿道管內各郡に於ける春蘭共同販賣日割及び豫定石數左の如し

▲六月二十八日龍仁郡（郡廳にて）百七十石▲同三十日利川郡（郡廳にて）三百五十石▲七月二日廣州郡（松面）同三日驪州郡（郡廳にて）三百五十石▲同四日利川郡（郡廳にて）三十五石▲同五日安城郡（郡廳にて）三十石▲同七日龍仁郡（郡廳にて）七十石▲同八日坡州郡（郡廳にて）三十石▲同九日楊平郡（郡廳にて）八十石▲同十日開城郡（郡廳にて）三百五十石▲同十一日楊州郡（郡廳にて）三百五十石▲同十二日長湍郡（郡廳にて）九十石▲同十五日漣川郡（郡廳にて）二百五十石▲同二十三日抱川郡抱川普通小學校にて七百石

◉咸南共進會準備

咸南道に於て開催せらるべき物產共進會は愈々今秋十月を期し開期二週間の豫定にて開催せらるゝ事となりたるが目下道當局に於ては專ら之が計畫に多忙を極めつゝありと

◉咸興高普開校式

去る四月一日創設されたる咸興高等普通學校開校式は十四日午前十時同校庭に於て擧行、儀式は君が代、勅語捧讀、重田校長の式辭、關屋學務局長の總督告辭代讀、中咸鏡道長官等の祝辭、祝文祝電の朗讀あり終つて記念の撮影を爲せるが來賓は關屋學務局長、中道長官、京城專修學校松原教授、總督府田中視學官、道事務官各官署長、民間有力者等內鮮人約百餘名頗る盛況なりき

◉楠瀨中將招宴

官民有志發起の楠瀨陸軍中將歡迎會は十七日夕花月に於て催されたるが出席者無慮五十餘名席定まるや國分李王職次官發起人一同を代表して歡迎の辭を述べ次いで楠瀨中將謝辭を述ぶると同時に二十年前公使館在官時代の所感並に追懷談、這回の南北支那漫遊の所感並に日支親善に關して國民の對支人態度に就き希望を述ぶる處あり主客歡を盡して盛會裡に散會したるは十時半なりき

◉楠瀨中將歷訪

入京中の楠瀨中將は十七日朝八時五十分南武官の東道にて軍司令部を訪問し同九時總督新官邸を視察し九時半師團司令部を訪ひ十時より七十八聯隊を視察せり

◉隈局長入京

陸軍省經理局長主計總監隈德三氏は豫定の如く十七日午後七時二十五分南大門著列車にて入京大觀亭に入れり

◉佛領事代理訪問

京城駐在佛國領事代理ガロア氏は數日前著任せるが一兩日前事務の引繼を了したるを以て十七日總督府に久水外事課長を訪問就任の挨拶を爲したり

◉山崎參謀歸東

第十九師團參謀陸軍步兵少佐山崎定義氏は今般參謀本部附を命ぜられ十八日龍山發夜行列車にて歸東すべしと

◉警察官異動

十四日附警察官に左の通り異動ありたり

依願免職 慶南晉州署長警部 中島昇

補晉州署長 忠北忠州署長警部 渡邊吉兵衛

補忠北忠州署長 慶南馬山署警部 石野[illegible]

命慶南統營署勤務 新任警部 久枝顯三

命警務課勤務 新任警部 福間尙志

命咸南勤務 新任警部 鈴木八十司

◉秋川師團參謀來任

新任第十九師團參謀元陸軍步兵學校教官步兵大尉秋川正義氏は十七日朝來任す

◉仁川驛貨客

仁川驛に於ける五月中取扱ひ旅客數は客車收入七千八百六十五圓貨車收入七萬六千五百四十九圓計八萬四千四百十四圓にして之を前年同期の收入に比すれば三萬九千三百五十四圓の激增を來せり而して乘降人員は乘車三千五百八十五名降車四千二百八十四名にして九百人を增加し入場人員八百十名にして之亦二百八十二名を增加せり手小荷物發送六萬八千斤到著八萬九千斤貨物發送噸數二萬百六十四噸にして一萬二百八十三噸を增加し到著四千四百七十七噸に比して亦一千百六十七噸を增加せり

◉群山雜信

▲漁夫慰藉會 群山官民有志發起となり例年六月中旬內地漁業者の多數群山に集合するを好機とし漁業者慰藉會を開催し遠來の勞苦を犒ひつゝありしが本年も天野府尹、渡邊群山署長、稻沃溝郡守、大倉米吉氏、中柴萬吉氏、井上朝鮮水產支部長、島村群山水產專務、桑島水產校長等發起となり來る二十日群山座に於て第十回漁業者慰藉會を開催する由なるが當日は漁業者及び其家族を招き菓子煙草其他を給與すると共に浪花節入り活動劇を觀覽せしむる筈なりと▲當選決定 群山商業會議所當選評議員の氏名は當時所報の如くなるが當選者中磯部謙哉氏は評議員として多年群山商業界に盡瘁したるも商業會議所解散と同時に隱退の決意固く遂に受任するに至らず十八銀行支店長北川元助氏は本店行規の都合に依り辭退したれば次點松坳延太郎、上野源七氏等受任したり▲役員選擧 群山商業會議所にては別項の如く當選評議員全部の受任決定を見たるを以て十七日午後七時より會議所會議室に於て評議員總會を開催し役員の選擧を行ひ會頭副會頭を決定すべしと

「鎌倉より」 大塊

本年は瑞鹿山の黃梅院を拜借避暑の筈に有之、殊に既に虎丘和尙には聞覺の總理として鎭座まし〱候事に御座候、本日試みに入山致し候處、山中氣爛萬々丈に有之候

瑞鹿の聲よ四海の靑嵐　大塊

高麗人に聞せし時鳥　虎丘

右如斯に御座候不一

六月十二日　瑞鹿山徒

人事消息

▲稻塚英太郎氏（釜山郵便局工務掛長）十七日夜入京旭旅館へ▲佐々木仁氏（平壤郵便局電話掛長）同上▲木村昌作氏（元山郵便局電話掛長）同上▲原田鎭治氏（三菱理事）▲若松市郎氏（同社員）十七日入京朝鮮ホテルへ▲木村林次郎氏（三菱釜山浦支店長）同上天眞樓へ▲藤田臣正氏（旭硝子會社重役）同上▲楠瀨中將 十八日朝退京の筈▲深川傳次郎氏（慶南道府尹）十七日退京▲殿竹治氏（滿洲四平街電氣會社員）同上

大阪だより

△銅價公定影響

昨年十月發表したる米政府の銅價廿三仙公定は全く自國並に世界銅相場を犧牲にして聯合國軍資の調節を圖りたる戰時特殊の手段なれば其影響は全世界に亙り本邦銅相場八十一二圓は六十圓或は五十九圓に暴落し目下は內地需要向六十二三圓を唱へ此相場にては石炭工賃運賃等暴騰して到底引合ざる爲め各小規模の銅山及び製煉業は一齊に操業を短縮し大規模の銅業者も其向あるが本邦の物價は鐵十倍石炭三倍にして銅は僅に戰前に比し五割高に過ぎず然るに公定の結果二割五分を引下らるゝ大打擊となり製產手控の結果銅在荷は減少を來し其趨勢は世界的なる爲め支那印度方面より公定相場より餘程割合よき値段にて註文を申込むもある次第に消し如き觀あるも銅界は全く火の消えた如き沈衰狀を呈し本邦は十萬噸の現產高が戰前の產銅六萬噸に減少し米國の現在百萬噸も六十萬噸內外に減少すべし而して世界銅業者の致命傷たる銅價公定第二回期日は來八月十五日を滿期とするを以て第三回が果して公定持續か或は幾分引下ぐるか當業者全體の死活問題なれば目下其期日を只管待詫び居る狀況なり公定解かれて後非常に品薄の爲め或は相場の大爆發を見られずとも限らずと

△豆粕前途如何

肥料に對して農商務省は暴利取締令の適用をなす事に決したる結果は鈴木白井商店の買占にかゝる豆粕相場に大影響を與ふるに至るべく一部の識者より觀測を下され居りしが神戶に於ける豆粕市場は何等影響なく薄商內の閑散ながら四圓九十五七錢の手堅く保合を示し居れり右の如く市況の手堅を示し居れるは大連相場の內地相場より八十五錢方の上鞘を示し居れるに職由する所尠からざるも本月に於ける豆粕の入荷は百五十萬枚と豫想されたるに拘らず目下の入荷狀態よりすれば九十萬枚位の輸入より不可能なるが如き狀態の爲め茲に需給關係による供給不足も勞々あることなれば折柄の需要期と相俟つて目先多大なる引緩みを期待することは不可能と言ふべく產地相場と內地相場との逆鞘の關係上目先に於ては寧ろ引締の成行を呈せんとするもの、如き風潮あり（大阪支局）

◙百聞百種◙

物價は騰る一方で月給取でさへ割增とか增給を受ける迄漕つたがまた依然として上らぬものがある▲第一が銀行の預金利子、郵便貯金の利子である、だから何とかして上げて貰はぬと權衡がとれぬ但し銀行の貸付の方は今日の儘でも構はぬ▲お寺の佛さんは默つて居るのも道理お賽錢によつて利益を左右するやうな根性は持たれぬから、但し坊さんの方で多少の不平がないでもあるまい▲水道の使用料も騰らぬ電燈も元の通り、電車も、郵便も、煙草もそれから乞食にやるのも五厘一錢の相場は變らぬ▲まだまだある登記料に罰金も流上風には侵されぬこんなものまで上つては堪らない▲歐洲西部戰場に於ける獨逸の總攻擊も漸く喰止められた模樣である▲前回の總攻擊に失敗して國內に不平の聲充滿した獨逸が之を鎭壓する必要上無理な攻擊をやつて又々失敗したとなれば、國內の不平は前回以上に勃發するだらうと思はれる今後の獨逸は最も注目すべきものである▲獨逸の攻勢が鈍つたので聯合軍が勢を得て漸次盛返しつゝあるのは愉快だ

◉獨社會黨屏息 平和促進の戰爭

[illegible]る能はざるに至るべしと觀測するもの少からざるが某消息通の觀測によれば個々一部論者は今次同派の宣言に[illegible]して徹底せざらんか社會黨は隨所に反亂して第二の露國たるべしと觀[illegible]知するを要す即ち露國にありては連戰連敗國內疲弊して勞働者饑餓に瀕せしは革命誘發の一大原因[illegible]しき窮乏を訴へず一月の軍事公債應募の如き頗る好況也と傳へらる[illegible]と露國社會黨失敗の餘波を受けて著しく國內の信用を失墜せしのみならず[illegible]使役するの止むを得ざる狀態に在りと云ふに徵するも明かにして何[illegible]就職生活難なき彼等が敢て騷擾[illegible]ざるは實に獨逸の中堅たる中產有識者階級なる[illegible]る所にして換言すれば獨逸は今や平和促進の爲め戰勝に熱狂しつゝ[illegible]寧ろ一層協力奮鬪の切要なるものあるべし（東京）

●日光にて自殺 大阪[illegible]

◉いろは讀める人ならスグ上達出來る◉
新式作文手紙速成講義錄
短期で卒業でき質問自在の本書は實地に活用出來る作文…日用手紙文…ハガキ文…廣告文…論文…短文…證文等を何人にも速成短期に上手になる樣に自宅で獨習できる作文學會苦心の著述である
入會金不要 講義內容豐富 判假名付 特に六十錢 送料共前金なれば四錢を要す代金引換で發送す
本書購入者先着千名を限り
新式記憶字典 無代進呈
本書は一度覺えたら二度と忘れぬ一字覺えたら十字をさとる誰れにも物知りとなれる秘書
ハガキにて東京市淺草區瓦町南文堂へ申込あれば

瓦斯管 合資會社 南方商店 京城南大門通二丁目

お待兼の七月號 少年世界 東京本町 博文館 振替東京二四〇番
科學小說 少年護國會 / 冒險航海 東京灣一周 / 海の話 / 活動奇談 紫の自働車 本間銀之助 / 少年小說 小刀事件 石黑 / 奇想小說 入道島 江見水蔭 / 馬の踊り出す（手工）新寸法師
少年雜誌社の給仕 五十嵐松園 / 智慧博士 三國戰爭 / お伽小說 ピンポン玉 巖谷小波 / 紙上遊戲 佳水案

少女世界
お伽小說 鍾の橋 巖谷小波 / 伯母樣のお話 牛飼の娘 沼田笠峰 / 冒險小說 ダイヤモンド 中川 / 少女劇 誕生日 加藤京子 / 手工 七夕の千代紙
▲お藥取り 岩崎 ▲鶯鳥と鳴猫 ▲愛犬ジョン ▲繪話 引越 / お母樣の留守 / お母樣ごつこ 矢野あや子 / カステラの話 / 玄關にお客樣 / お祕な花束 / ▼少女家事心得 定價十五錢 稅一錢

◎最新和歌講義錄 會員募集
入會金一圓 講義懇切 添削無料 進呈 東京小石川高田若葉 和歌講習會

完全國民乾電池
學理と實驗より生れたる 最新式乾電池
通信用各種 鐵道型 遞信型 陸軍型 海軍型 其他各官廳型
特長 構造最も完全 電量頗る多く 成極作用少く 恢復力に富み 隨て壽命長久 型錄御報送呈
▲其他製品▼ 各種乾電池 懷中電燈 手提電燈 電球裝飾用 球附屬品 其他電氣用品
發賣元 岡田電氣商會販賣部 東京南品川七丁目 電話高輪二八五番 振替東京二〇二六番

時計及蓄音器卸商 喜多金光堂 營業創立明治二十八年 京城黃金町二丁目 電話一〇一五 振替京城七八二

星印ソース
本品は其品質と責任に於てソース界の明星なり
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

精米麥機 輕快一日六俵搗 足踏 天下一品
本機は運轉輕快婦人小供にて終日作業容易一日六俵搗三俵搗各種あり實物廣告の爲原價特價提供 詳細說明書申込次第進呈
大阪市北區上福島一丁目 砂川製臼所精米機部

最新刊
印度の現勢 信夫淳平 二、六〇
簡易機織法 渡邊勉 一、八〇
香料の研究 二、五〇
土壤肥料寶典 內山小川 一、五〇
心靈現象の問題 小熊虎之助 二、七〇
バイロン傑作集 木村鷹太郎譯 二、〇〇
獨逸膨脹史論
千代菊淸二 坂田 心中
二つく 双紙 松山思水 七〇
日蓮聖人物語 高須梅溪 一、四〇
聖楼 一、〇〇
料理小說集
朝顏栽培秘訣 千葉晩香 七五
印象記 岡川內村 一、五〇
人及藝術家としての正岡子規 西宮藤朝 六〇
京城本町 大阪屋號 （本店）東京（同店）大連 旅順 鐵嶺 釜山

……[illegible]……或は武斷派の民黨壓迫を傳へ爲に獨壞は久しからずして內亂收拾す[illegible]全然溺逍に浸せる所にして決して社會黨のみの主張する所にあらず[illegible]て說明を要せざる所なるのみならず國內の狀況亦有要の差あるを[illegible]厄の侵略により食糧補給策確立したるのみならず其經濟狀態の甚だ[illegible]の優勢を占めし獨逸社會黨は出征者多くして近時頓に其數を減せし[illegible]萬發を製造するを以て三千萬の[illegible]工を要し而し其內六萬人は女工を[illegible]の民黨壓迫云々と傳ふるも要するに今次獨逸が飽迄も執拗に戰意を[illegible]は平和促進の唯一の手段なりと確信しつゝあるは今更喋々を要せざ[illegible]國の前途を樂觀するが如き事あらんか終に噬臍の悔を免れざるべく

驛頭の御握手

コンノート殿下今日御入京

至尊東京驛に御出迎遊ばさる

◇東伏見宮殿下と御同乘霞ケ關離宮へ

畏き邊りに元帥杖捧呈の爲め御來朝の御名代宮コンノート殿下には十八日未明春洋丸にて橫濱に御入港直ちに御上陸文武官日英官民の奉迎を受け御召列車にて東京驛に御著車御出迎への爲め行幸の天皇陛下に御對面御握手を御交換あらせられ尚各皇族方及び文武大官とも御握手の御挨拶ありて後陛下と御同列にて御閱兵遊ばされつゝ御車寄にて宮廷より差廻しの儀裝御馬車にて東伏見宮依仁親王殿下と御同乘堵列軍隊一般市民の奉迎儀仗兵の警衛萬歲聲裡に御旅館たる霞ケ關離宮に入らせ給ふべく橫濱、東京驛及霞ケ關離宮其他の準備完成し御入京を待ち參らせつゝあり(東京特電)

▼御到著を待つ 霞ケ關離宮

◇純英國式にて ◇善美を盡す

霞ケ關離宮には既に一箇月前より宮內省內匠寮同內苑課員數十名日日出張して殿內並に御庭苑の手入に努めてゐた爲目下は殿下御居間の調度品其他御裝飾品等を備ふに餘のみで殆ど完成し今は只殿下の御到著を待ち奉るのみと拜承する同離宮は殿下と

◉御舊識の間 なる故有栖川大將宮殿下の御邸たりしものにて主なる間は階上に十五室階下に十四室あり結構善美を盡し別に純日本式の新館附屬するも今回は右御洋館のみを以て充てられ純英國式に裝飾せられたる御居間御書齋御食堂御寢室等にて殿下は此

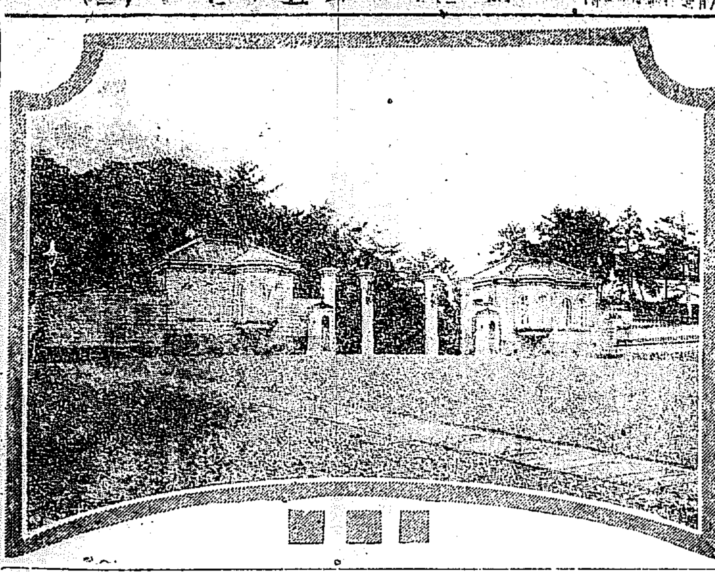
◉洋館階上の 五間を御使用遊ばされる由であるが隨行の諸員も同じく階上の數室に起居せらるゝと申す尚殿下奉迎の爲め東京市に於て東京驛頭並に馬場先門外に建設せらるべき羅馬時代の城砦式大凱旋門は既に工事に著手し十七日中には大體の骨組を了する迄に進捗してゐると

それが爲め新に任命ありし川村伊集院兩元帥井上宗秩寮總裁外各接伴員及び式部職等は寄々宮內省內式部職會議室にて御旅館の御設備閱兵御參內さては御旅情を慰め奉る觀劇其他の御催しに就き協議中で殊に御旅館に充て申されたる

◇久邇若宮御重態

父宮殿下御歸洛

神宮祭主久邇宮多嘉王殿下の若宮賀彥王殿下(御七歲)は十五日より急性胃腸炎に罹り給ひ高木主治醫帝大小兒科醫長弘井博士投藥し參らせたるが十六日は稍や御重態の御模樣なり右につき父宮殿下は十七日伊勢より御歸洛遊ばされたり(京都電報)



◉國賓を待つ霞ケ關離宮

◉信州の旱魃

‖田植出來ず

信州松本地方は旱魃にて田植出來ず農民困り居れり(松本電報)

◉二千圓の懸賞

四萬圓拐帶犯人捜索

富山縣越中上新川郡東岩瀨町村陣太郎(三三)は岩瀨銀行の金四萬圓を拐帶し蹤跡を晦ませるより目下同行にては二千圓の懸賞金を以て行方捜索中なり(富山電報)

◉小遣錢を強請る口實

◇物價は騰貴しても變りはない◇

に惡用されて居る軍隊の營養

陸軍省經理局長 隈主計總監談

滿洲方面の經理事務視察の途にありし隈經理局長は十七日午後七時入京大和館に投宿したるが車中に訪へば

◉青島や滿洲 では內地同樣物價の騰貴が甚しいのみならず銀相場が暴騰して居るので大分經理の上に困難して居るから之に對しては相當の途を講じて居るから大體に於て何等の支障も來して居らぬやうである世間では物價騰貴に伴うて

◉軍隊の營養 が不充分であると言つてゐるが米は現物支給だから幾程騰貴しても減ずるやうな事はしない只蔬菜類や薪炭費は定額支給なので物價が騰貴すれば從つて數量が減ずるので此方は從來よりも粗惡な理だがそれとて兵が故鄉に小遣錢を請求てやる

◉口實に惡用 されてゐるため世間では非道く誤解して軍隊の營養問題を如何にも大事さうに取扱つて居るが我々としては甚だ遺憾に感じてゐる本年は物價騰貴に鑑みて準備費中から四五百萬圓を吐き出して

◉約三割方の 增額を行つた、が來年は剩餘金もないので什うしても經費を多く貰はねばならぬ今度の視察旅行はそれやこれやの調査であるが各地とも想像したより給與狀態は善いやうである…夫より話頭一轉して日本人は餘りに

◉食糧問題を 閑却し過ぎて居るが嘆はしい至りだ、米國なぞのやうな成金國さへ戰線に兵隊を送つてゐると言ふので肉類を食べぬ日を一週三日とし其他の物も國民の愛國心に訴へて節約を奬勵してゐるが神戶あたりに居る米國人すらも、母國民と同じく緊張した心持ちで節約を旨としてゐる、處が日本人は

◉所謂成金風 に風靡されて勞働者までが外米は味が惡いなどと言つて排斥して居る樣だが贅澤の沙汰だ、然るに一方では米が高い、贅澤品が暴騰した生活難は益々加はる許りだなど、言ふ聲を聞くが國民が一致して白米は一週三日しか食べない事にでもしたなら米價は自然調節される

◉此意氣込み で國民が本當に眞面目に生活したならば物資の缺乏なども幾何でも補はれる、日本國民も各交戰國民に同情し且つ日本の現狀に鑑みて食糧問題などにはもつと深い注意を拂つて貰ひたい

長い耳 圓い眼

昨年我國へ來遊して大人氣であつた米國の女飛行家スチムソン孃は同國の飛行郵便に勤務することになつたさうである▲後藤內相が外相となつたといふ電報を見た一米人ゴトーはトーゴーの間違ひでないかと質問した新外相の名はまだ東鄉大將の其れ程世界的になつて居らぬ。大に奮發して日本に天晴れ此才外交家ありとの名聲を博せ▲今日此頃市中に狂犬病が流行するのが每年の例であるが今年は比較的狂犬の發現が少ないやうだ全く當局の注意豫防宜しきを得たる結果と我々は感謝して居る▲四五日前米國の新聞記者ナイズレーといふ人が支那へ行く途次京城に立寄り、朝鮮の發展と朝鮮人の幸福とを見て、すつかり日本の施設に感服し、日本は當然人道と文明との爲めに滿洲を併合すべしであると述べて居た▲九州鐵道の驛長連が收賄事件で獄にかゝつたが、京奉線でも同樣の醜事件が暴露され、奉天、營口其他二三の驛長が縛られたと北京の新聞に出て居る▲機械力によりて懷中時計を廉價に製造し且つ販賣して有名となつた米國のインガーソルといふ人は、其時計製造に用ふる原理を應用して廉價の住家建築の案を立てたさうだ。其案に據れば二階建で浴室の他に四室又は五室を有する家が千五百弗で建つさうである▲英國では食糧を節約する爲め愛玩の畜犬を撲滅しようといふ議がある。同國の畜犬總數は四五百萬頭で、其中二百五十萬頭には稅がかゝつて居る。此等の犬を悉く殺してしまうと二百五十萬人即ち英國の總人口の九分の一の食糧を節約することが出來るさうである(入魚生)

京 東京大相撲 優待割引券 京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戶料を廿錢に割引致候 (大邱興業中) 後援 京城日報社

◉朝鮮も禁止

勸業債券月賦販賣

東京大阪等にて勸業債券の月賦販賣を禁止したることに關し之れが朝鮮に及ぼす影響として本店其ものが業務の禁止命令を受けたるものなれば夫れが支店出張所として同一事務を執れるものは別個の命令を用ひずして當然消滅すべしと解するものあれども朝鮮當局にては命令發布の必要を感じ目下詮衡中にして玆一週間位には其の發布を見るに至るべき模樣なり

◉學校建設費へ 十萬圓寄附

神戶の勝田銀次郞氏

神戶の船成金勝田銀次郞氏は鄉里松山に新設の高等學校建設費中へ今回十萬圓を寄附せり(大阪特電)

◉問題の女將歸る

行李詰死美人事件の嫌疑晴れ一年振りに豫審免訴となりし神戶の女將山口まきは十七日播州舞野に歸れり(大阪特電)

◉大相撲の先乘

東京相撲協會理事甲山信太郞氏は京城に於ける興行準備の爲め十七日夜入京天眞樓へ投宿せり

◉帝國麥酒歡迎宴 帝國麥酒株式會社々長鴨田伊賀松氏及び平野氏重役の入京を機とし三日月會主催にて兩氏の歡迎宴を南山町梅の家に開催せるが主客八十餘名にて頗る盛會なりき

朝鮮の鹽

◉製鹽の價格

朝鮮では何程食ふ 何程鹽が出來る(三)

◇冬から春が最高値で六七月が廉い◇

總督府專賣課長 平井三男氏談

品質粗惡なる支那天日製鹽が一般に普及した結果天日製鹽なるもの粗惡なるものと世間から誤解せられて了つたので官鹽が白色の純良で支那天日製鹽と趣を異にしたにも拘らず官鹽出現の當時は之が天日鹽であると云ふ單一な理由で惧れ上嫌惡されたが漸次

圖品質の優良 なる事を周知するに至り漸々官鹽の出現に刺戟されて支那天日鹽は俄かに改良の實を擧げ天日鹽の信用を博する事になり一方官鹽生產高は鹽田の老熟と面積の擴張と相俟つて其勢力を伸張し朝鮮在來鹽並に再製鹽に對する需要は漸次衰へ

圖天日製鹽に 趨向するやうになつたのである現に再製鹽の如きは主要な都會地內地人の需要する外主として魚類鹽藏又は內地醬油浦鹽等に輸出せらるゝ狀態となつて鹽は直接食用に供し又は漁業用に使用する外朝鮮に於ては春季の味噌醬油の釀造、秋季は野菜漬物用に多額を消費するのであるが其割合は春季は年中の六割秋季は四割に當つてゐる

圖鹽の價格は 此の需要供給に支配さるゝは勿論の事で普通冬季から春季にかけ年中の最高を示し六七月の頃は最低となる例であるが昨年來海運界は船腹排底並に銀相場暴騰の爲め支那天日製鹽の輸入減退し又日本內地に於ける鹽不足の餘波を蒙り八九月頃から結氷期に向つては隨つて鹽價は釣上るのみであつて

圖鹽の主要地 仁川に在つては支那天日製鹽百斤當一圓內外を唱へ未曾有の高價に達したのである併し本年解氷期に入り支那戎克船の入港を見るに及んで漸次下向となり今八十錢內外再製鹽は一圓八十錢所を唱へてゐる官製鹽は其鹽質の高下に依り一二等の別が設けてあり需要者の便を圖る爲めに

圖天日製鹽を 煎熬鹽、再製鹽の如く極めて細粒に粉碎する設備があるが目下出來てゐる(天日鹽は結晶大にて一般使用に不便)拂下價格は市場の狀況により時々移動を免れないが目下は廣梁灣鹽田渡百斤當一等天日製鹽七十五錢二等同六十五錢一等天日粉碎鹽九十錢二等同八十錢で朱安鹽田渡價格は此價格より各等に就き三錢高である

◉釜山大相撲 二日目勝負

◇鶴ノ海勝つ 本社お好み決勝

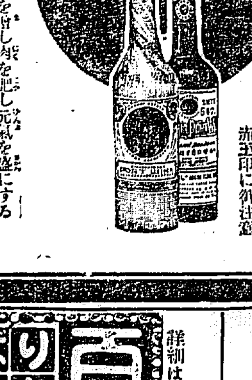
二日目は夜來の小雨霽れ人氣湧くが如く觀客も緊張を見たるが就中本社支局お好み決勝五人拔きとなるや賞品として米壹俵、麥酒壹箱、人蔘葡萄酒壹箱など入賞が入り滿場緊張裡に參入拔きとなし大淀、白岩、大岬を倒して鶴ノ海の勝利となりたり尙二日目の勝負左の如し

勝		負
玉の川	(寄切)	伊達錦
小牛田山	(寄り出し)	小田山
白岩	(突き放し)	鶴ノ海
大岬	(押し倒し)	能代潟
藤の川	(投げ出し)	翠ケ浦
大戶平	(寄り出し)	錦島
大潮	(吊り出し)	千葉ケ崎
鳳	(上手投げ)	三杉磯

等にして中入後の景氣は素晴しきものにて無事六時打出たり(釜山電話)

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一〇六一一番 電話二三一・七一番
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彥

七大醫學博士の賞讚と證明ある
美味滋養の純生粹葡萄酒
赤玉ポートワイン



類似品あり 赤玉印に御注意

滋養力偉大

血を增し肉を肥し元氣を盛にする滋養豐富な赤玉ポートワインは健胃補血興奮強壯の効顯著なる點に於て葡萄酒中特に模範的であること七人の博士方が賞讚された程であつて今や有名な醫家病院の藥局に藥餌用として採用されてゐる藥効偉大なる美味滋養の葡萄酒である

代理店 京城 辻本商店

外科 花柳病 內科 小兒科 婦人科
宮崎醫院
京城南山町二丁目電話三〇六八番

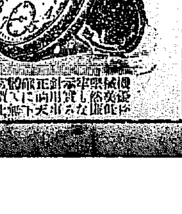
火災にポンプ
ポンプは熊平

ポンプ・消火器・輕便ポンプ
熊平支店
電話長六二四番・振替京城一三一二一五番

星の禁煙パイプ
日本醫藥學會新發見風味液。大正四年政府認可發賣。なんの苦もなく樂み乍ら禁煙が出來る味も香も煙草以上。其上一箇一日一錢五厘で事が足り衛生經濟一擧兩得也
醫師藥劑師內外紳士數千名禁煙實驗證明付
ニセ物あり商標に御注意●風味液六十錢パイプ小形(?)特製七十錢象牙製九十錢サック卅錢●送料八錢海外卅錢
誌名記入 品進呈 送料二錢
發賣 星社 東京神田猿樂町三 振替東京三二七四番

公告
一、牛皮九千八百五拾頭
右來ル六月二十一日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

新荷著 スヰス製 懷中時計



懷中時計(▲印はラヂユーム入) アンクル機械
ニッケル側十八形 二、五〇 片蓋アンクル
同 三、五〇 同
同 四、五〇 同
同 七、〇〇 同
同 一〇、〇〇 同
[illegible]
腕卷時計(▲印はラヂユーム付)
ニッケル側十三形 四、五〇 片蓋シリンダー
▲同 七、三〇 同
▲同 七、六〇 同
同 一〇、〇〇 アンクル
[illegible]
右は今回新荷の商品にして本店直輸入品に付き[illegible]
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッソー商會
本店京城本町二丁目電話九七二番

百圓進呈
りん病 ばい毒 藥王
淋病藥王藥は治療劑とし梅毒藥王藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と鑑定し帝國醫科大學病院等にて實驗試劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の証に違ふる事を發見せる時は
分析料 百圓進呈
あらゆる治療をおすゝめあき患者兄に御相談あれ
にせ物に注意 東京其他各地にニセドラッグあり
大阪有田ドラッグ
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部
京城黃金町三丁目
支店 龍山、仁川、平壤 釜山、元山、大邱
他の藥店に販賣を不許
京城龍山等各地に僞物有御注意
京城 南大門外停車場通 大阪 有田ドラッグ商會
詳細は本月六日の本紙を御覽

東京 万平灸
京城黃金町三ノ三四一

妻の心（十一）

小林蹴月作　武内桂舟畫

（三）の二

『何うしてでもないです。町川さんが、然う云ふ傳言をして呉れとのお囑へですから、私は私として其の御傳言を齎らして來た丈です。』

柴田は、此方の思ふ壺と云つたやうな得意の顔付で、逆り込めるやうにお俊を眺め返した。

『それはまあ、御親切さまに有がたう御座いますが、それに致しましても、手前どもの主人は一體、何方に居つて左樣な事を貴郎さまにお願ひ致しましたんで御座いませう。』

『何方も其方もありません。穴守に近い森ケ崎の望月館にお在たんです。私も恰度一夜泊りで遊びに行きましたもんですからね。』

『まあ、箱根とばつかし思つとりましたに、つひ鼻の先の森ケ崎においでなんで御座いませうか。』

『森ケ崎です。而も柳橋一流のハイカラ名妓で、若龍と云ふ美人を御同伴なんですよ。いや、そんな事は、僕の附言ですが、何にせよ御全盛極つたものです。御病中の奥樣に對しては、お氣の毒ですけれどもね……はゝ、はゝ、はゝ。』

『まあ、貴郎、暫時お待ち遊ばして下さいまし。然う云ふ事を承はりましては、妾一個の考へで御挨拶を申す譯にも參りませんから、御病中とは申せ、一寸奥樣のお耳へ入れて置かねばなりませんから……。』

『ですから、奥樣にお目に懸りたいと云つとるんぢやありませんか。』

『誠に……妾が行届きませんので……。』

お俊は、初見の柴田から半分は叱られて居るやうな思ひを爲ながら、とつかは奥へ引込んだのであつたが、やがて、十數分の後再び玄關先へ出て來た。

『お待たせ致しまして相濟みません。御親切にお知らせ下さいましたが、御親切に對して、別段お禮を申すほどでは、御座いませんけれども、ほんのお俥代として、お恥かしう御座いますが、是を差上げて呉れとの事で御座います。』と、云ひながらお俊は白紙の一封を差出す。

『いや、私は決して俥代を頂戴に來た譯ではありませんが……。』と云ひつゝも柴田は、その一封に手をかけて、裏を返して見ると、金で五十圓と記してある。その豫想以上に多額であつたのに驚いたが、同時に又、惡德新聞の記者として、此の町川家の家庭内には他の知らざる秘密的事情の潛んで居る事をも悟つた。又更に此の家の細君禮子なる婦人が、良人は留守、自分は病中であるにも拘はらず、獨斷で是丈の事を爲るのは、尋常一樣の人間でない事をも、心中に於て、恐れ且敬服したのである。

『失禮では御座いますが、情願出來ます事なら、新聞になぞお出し下さらぬやうに……と、奥樣からのお願ひで御座います。』

『いや、委細承知致しました。僕にもせよ、政治家にもせよ、表面と裏面とはあるもんですから、は、は、萬事私が呑み込んで居りますから、必ず新聞に出るやうな事は致しません。で、折角で御座いますから、是は頂戴して參りますが、奥樣に何卒よろしく……。』

『何分ともによろしうお願ひ致します。』

『呉れ〴〵も柴田と云ふ男が奥樣によろしくと申したと、被仰つて頂きたい。』

五十圓の効驗は凄まじいもので柴田は頗る温和に、而も百萬多羅の禮を述べて引退つた。

お俊は、それで一切が濟んだやうな氣がして、禮子の部屋へ立ち戻つて見ると、禮子は、ちやんと褥の上に起き直つて、殆んどその半生を褪らぬやうな顔を爲ながら

『俊や、花柳新聞とやらのお方はお歸りになつたの？』

『はい、呉れ〴〵も奥樣によろしくと被仰つて……只今お歸りになりまして御座います。』

『然う、それではまあ、その方は一安心と云ふもんですーが、お前、氣の毒だけれどもね、今からその森ケ崎の望月館とやらへ行つて來てお呉れでないか。』

『あの、妾に森ケ崎へ行けと被仰るんで御座いますか……？』

『旦那樣が果して其處にお在だつたらね、妾の命は差上げても關はないから、その若龍とやら云ふ女を連れて、宅へ戻つて下さるやうにと、斯うお願ひ申してお呉れ。』

京城本町二丁目 正氣堂 電話二一九五番 振替京城一二八三 △御一報次第見本送呈

今日のおやつはモナかときめて 電話かけましよ木村屋へ（京城明治町 電話二八七〇）

左衛門歡迎會句録（二）

木々の下闇る草や夏淺し　橙丘子
夏淺く迅雷雹を降しけり　左衛門
二亭に男女分つ事夏淺し　呂池
貧廚に天下を謀る裸かな　侮子
縣西人種に待着たりけり　左衛門
默なきと打て裸のゴロ寢かな　静軒
神臓に綢繆ふや貢ッ裸　登貢子
一毬を蹴る砂冷くし裸に　南城
裸ッ兒しくしさの素足哉　静軒
木下闇入呼べ鳥啼て去る　侮子
蝶一羽逐はれ入るや木下闇　居城
下闇にもの喰ふ男許りなる　鳥頭
青苔の鐙へる如し木下闇　井城
山寺の塔尖見ゆる夏淺し　大瀬
寄坐する庭の茂に裸かな　箕川
宛く錢や裸一貫の男かな　桂堂

パインビジネスペン（金ペン付）定價壹圓九拾五錢
簡便好評の經濟的事務用
京城本町通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

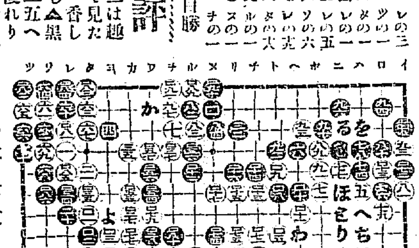
碁戰（完）

（大正七年五月二十二日 京城於紀本龍太郎氏宅）

五段 [illegible]源吉氏
二子 初段 佐藤伊藏氏

○一八一	レの三
●一八二	ツの一
○一八三	ヌの一
●一八四	レの一
○一八五	レの五
●一八六	ソの六
○一八七	レの十九
●一八八	タの十六
○一八九	ルの一
●一九〇	スの一
○一九一	チの一

白三目勝



講評

△白十三は趣向に出で見たれ共餘り香しき事なし△黒十六は二五へ飛ぶ方優れりされば十六と打ちたる以上十八は直ちに□二四へ打ち白に（イ）へさせ而して黒七二へ伸びる運びに出だし△黒三二は三五へ打込まれる手筋ある處なれば△黒三八は好著なりと雖も白より四三へ打込まれる手筋ある處故（い）へ飛び夫等の豫防を成す方實利にて優れり△黒五八殺しは（ろ）へ打ち込むべし白より五八へ切り來るとも双方の白石は活きたる有故最早五十、五二の二子は黒に於て必要なき故（い）へ押し白（は）黒（に）と押し打つべし△黒七六は無理なり八十へ覗する外なしされば白七七は輕卒なりき此手を以て八十へ伸出し黒（ほ）なれば白（へ）黒（と）白（ち）黒（り）白（ろ）其時黒（ぬ）なれば白（る）黒九十白九六へ下る黒又（ぬ）を以て（を）へ隅を守らば白（ぬ）なり或は（わ）へ飛ぶ何れにしても譜の如きには優れり△黒八四は緩し直ちに九七へ押し白（か）黒八四と打つべし△黒□は（よ）へ飛ぶべし黒□六と□七との交換惡し黒の□六なきとも白に於ては□七へ打ちたき處故□六は□七一へ頂け置き（た）へ尖出す意味を狙ふべし△□二六は（れ）へ頂けべし白□三一の時□三四へ綽ね黒□八六の時（そ）へ打つ方得なり△黒□四八は□四九の方得なり白□六一は輕卒なりき□六二へ打つべし△黒八八は（つ）へ粘ぐべし其時白□八八なれば黒（ね）へ應じ劫爭をなす黒には劫の立塲所數多あり白はなし故に白□八八へ打つ事ならず（な）へ打つ外なし其時黒□八八へ粘ぐ一目餘の得なり併し何れにしても白に一二目は得られるなり黒に於ては三目敗を一二目敗になすは碁の法として黒の働きなり　因に雀者安非仙知（安井家々元時代に八段）とふ人或者と對局して仙知三目敗けたる非行り打終りたる後何とかして二目敗になさしかと夜半迄考慮せしと云ふ是等を以て碁道の奥義と云ふべし▲瀬吉識▼

腦病と人の運

諸君は如斯して不快なる腦神經衰弱を治療して多幸なる運命を開拓せよ

▼頭痛のする人

人は自分の運の好い悪いを、神樣か何かの力であるやうに思つてゐるが、之れは大きな誤りであつて人自身が自分の運の神樣なのである。だから病の神も貧乏神も其人の中に住んで居るのであつて決して他にあるものではない即ち、もしも慈に頭の惡い人があつて雨模樣や曇空の時はイヤに頭が重く、日常も何となく頭がヅキ〳〵するなぞと云ふ腦病頭のために、ロクに仕事が出來ないとすると、社會は相入が冷遇する。それに反して頭の好い人即ち健康の腦を有す人は社會も亦ん〴〵擁護するので社會が厚遇する。其處で「あゝア俺は何故運が惡く行くんだらう」と默然を發する事になるが、これは決して運が惡くなるのではない。自分で運を惡くするのである。自分の悪い頭を治す事に依て、即ち腦病良劑レーベンの發明者常持醫學士の二冊の治療書はその方法書に外ならない

▼飽きつぽい人

てゐると云ふ冷汗が全身にビッショリと流れて氣分の惡い事は夥しい。勿論翌日の本人さへつぱり病氣とは氣つかずに「近頃は眼が冴えて困る」位で平氣でゐるのだ。實に危險な事である「本人自身で解らない」のが此病氣の特徴であつて、本人の知らぬ間に病勢はずん〳〵進んで其結果半身不隨になつたり卒中で倒れたりする事になるのであるから、本病者は何を措いても常持學士のレーベンを常用して二冊の治療書を讀む必要がある。それはハガキで申込みさへすれば無代で贈るのである。

夜眠れないために翌日隨る不愉快なのは云ふ迄もない事だが、それがために仕事が捗どらないと云ふ事は其人のために何れ位不幸であるか解らない。仕事に熱心になれない」と云ふのは此病氣の一症狀であつて、仕事をしてゐても直ぐ飽が來て、何かの拍子に立上ると、く〳〵と欠伸が出で、首筋中腰痛を訴へる病人は得てして〳〵と時流を感ずるなぞと云ふ人は皆病にかゝつてゐるのである。斯る人が社會に於て何れだけの活動が出來よう。云ふ迄もなく敗者たる運命に立つのである。斯る人は一日一刻も早く常持學士の治療法に從ひ、又は、其併腦劑レーベンの偉力に頼るかして、運に全治する必要があるのである。レーベンは既に社會的に其價値を知られてゐるので、私に事新しく説く必要はないが、岡山醫學博士を始め帝大其他陸海軍醫界大家が證明して、第一に植物性藥であつて、東洋人に適合し第二に腦の要素たるリンサンを多量に含んで居り、第三にその製劑法が最新式で完全であると云つてゐるに依つても其耐命的信用の程度は知れよう。

▼記憶の惡い人

……の中に何か事實のない心配の種を……には此二冊の腦病治療書を讀む……に知らないでゐるのである。……く……に頼むかしてあるが、それは何故であるかと云ふに、つまり今云ふ世の記憶の惡い人になるふために外ならないのだ。何れはそのために其事が齎して常に深憂たる結果有名なる健腦薬劑レーベンを發明した位である。一體今の世は腦神經衰弱時代と云つても好い位であつて、男なら腦神經衰弱、女ならヒステリーの人が非常に多い。之れは世の文明が進んで生存競爭が烈しくなるに從ひ殖へる病氣であつて、頭痛のする人など皆此病人である。僕は近頃何うも健忘れをして困るなぞと云ふ人も此病氣にとりつかれてゐるのだ。ツーウナイ事をひよい〳〵忘れてゐる中は未だ好いが、知らぬ中に病氣が進んで、やがては親しい友達の名を忘れたりする位になる。此は學生など最も注意すべき事であつて、殊に受驗の青年たるには何よりも健腦が大事である。

▼夜眠れぬ人

腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠れない事である。いざ床についたとなつても、さま〴〵な妄想があとから、あとからと湧いて來て却々眠れない。眠らうと努力すればする程益々眠りかねてつまらない、取越苦勞をしてみたり、莫迦げた空想に追はれたりして、やがて一時の時計がなり、二時の鐘を聞き、終には頭が何かで壓されるやうに重くるしくなつて來る。遂う遂う夜が明ける……たまたに眠れば不愉快な夢に襲はれ

▼優柔不斷の人

一體此病氣の人は俗に云ふ「ぐつ」であつて些と手紙を書くのも面倒、人を訪問するのも面倒で、常にに切らね生活をしてゐるものであるが其中に、自信力の缺乏、厭世の情などがわけもなくつのつて來て終ひには取返しもつかぬ運命に入るのであるから速に治療の法を講ずるが好い。何の手數はない只ハガキ一枚を認めて東京市京橋區弓町二十二番地、弘濟院、中南正太郎へ申し込めば常持醫學士の「腦神經衰弱療法」「精神療法」の二冊子は直に無代贈呈さるゝのである。本書は容易な文章で何人にも理解出來るやうに簡單確實な療法が書いてあるのである。人は自分自身の醫者である。神である。自分の心掛一つで幸不幸は分れる。紙遠慮今直に申し込むがよい。藥價は三十錢五十錢八十五錢一圓一圓六十錢三圓等で各地藥店にある

目だつて色白く ニキビそばかすをとる

世界的最新内服美身藥

白色淨血劑 ベーリン

今が一番危險な季節

美容上最も危險な夏が來ましたニキビそばかす色黑其他皮膚病の方は嘸かしお困りの事と思ひますが今のうちに一時も早く根本的の治療をせぬと腎臓炎に罹る危險があります。元來此の種の皮膚病は從來は多く外部の刺戟が原因で起るのだとばかり思はれてゐましたが最近醫學の證明する處によると其の大原因は體内消化機能の異狀により發生する一種毒素の作用だと云ふ事が判明しました。ですから之迄の如き不完全な塗け藥や舊式な藥下しなどでは到底全治する譯なく却つて一時的な藥なぞを用ゐると慢性腎臓炎を喚發する虞があると云はれて居ります。で根本的に治すにはどうしても完全な内服藥でなければなりません。白色淨血劑ベーリンは此の世界的大原理に準據した本邦唯一の完全な内服藥ですから斷じて上述の如き弊害無く實に驚くべき偉効を奏し爲めに專門諸大家はもとより直接患者より數萬通の感狀を頂いた程であります。ニキビそばかす色黒赤鼻あぶら顔逆上抜毛慢性胃腸病常習便秘慢性リウマチス等の方は勿論のこと一般の人々も常に身一錢として服用され何日までも永く美しく幸福な生涯に入られん事を切望致します。

一回僅かに三個宛の白色淨血劑ベーリンは人體を白美にし皮膚病の原因を去り身體を強健にす

定價 六十錢 一圓二十錢 三圓 五圓

試驗藥特別大提供

本房は此の模範的美身強壯劑を廣く社會に頒布して來ましたが今回初回者の御便宜を計り試驗藥を提供して來ましたが御試用なき方又は他藥の効力無かりし方は至急振替又は印紙切手代用等にて三十五錢御送附になれば試驗藥に最新の薬書皮膚病新治療法を一冊無代にて添へ直ちにお送り致します

日本政府登錄商標

東京上野櫻木町四十 瑞西エミール會社製藥輸入元 化學工業藥品化粧品製造及貿易 内用外用化粧用ベーリン本舖 合名會社 博仁房 電話下谷三八二番 本所三二一番 振替東京一七七四番

……全國到る處藥品化粧品店にて販賣す

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）電話一八番 二六〇番
酒井婦人病院 院長 酒井一郎

特効 神經衰弱
ユーキリン
榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス
粉末 二五瓦入 金七拾五錢　錠劑 百錠入 金八拾錢
本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ
説明書進呈ス　各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町 三共株式會社

帽子原料附屬品商 T.Y 江指商店 大阪高麗橋東詰 電話東長……

内科 呼吸器病 胃腸病喘息
小兒科 リユマチス
京城本町三丁目四十五番地 電話二八八〇番
山田病院 院主 山田萬作

大日本優等清酒 ルックー
品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 醸造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

京城本町一丁目江戸川横
岡本齒科醫院

淫羊藿エキス

主効 神經衰弱 貧血症 肝臓病 腎臓病 胃腸病 肺病 生殖器病 リウマチス ヒステリー ヒポコンデリー 老衰 精力減退

定價 廿瓦入金壹圓 卅瓦入金壹圓五十錢 四十瓦入金壹圓九十錢 五十瓦入金貳圓三十錢
送料 鮮内二錢 外三十錢

全一手販賣 朝鮮京城府大平通一丁目 合資會社 國京城日報社代理部 電話長六〇九番ノ三構内一八番 振替貯金口座京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社 十八銀行京城支店 京城黄金町電話四三〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
一預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

大阪株式 十七日前場……二〇一・四〇 二〇六・九〇 二三六・九〇
大阪期米 十七日後場 △當限寄付 二十七圓四十四錢……と押したるが三節に至り大阪役寄錢九錢三節二十三圓四錢七錢六錢 二十六圓十九錢四節二十九錢と高五錢六錢七錢八錢七錢六錢五錢六 入徒再び三圓臺に跳ね八錢あつ錢五錢四節ノ四錢五錢六錢七錢六